Camera Control Pro 2 ソフトウェア 使用説明書（リファレンスマニュアル）

■ はじめに

この使用説明書の構成、Camera Control Pro 2 の概要（主な機能および動作環境）、使用前の準備などについて記載しています。

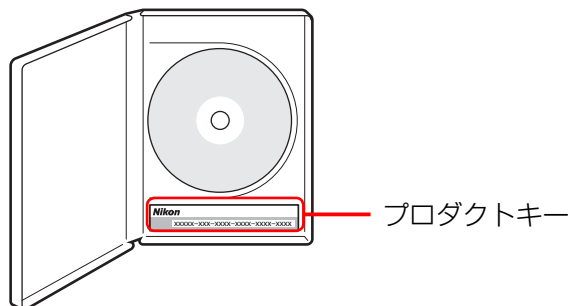
■ 操作ガイド

Camera Control Pro 2の各機能の操作手順について記載しています。

■ 付録

環境設定の詳細、アンインストールの手順などについて記載しています。

重要：Product Key（プロダクトキー）について

ケースに添付されているプロダクトキーは大切に保管してください。プロダクトキーを紛失された場合、再発行できません。このプロダクトキーは、本ソフトウェアをインストールする際に必要になります。また、将来新しいバージョンにアップグレードする際にも必要になります。

SB1B02(10)

6MS56610-02

はじめに

見出しやページ番号をクリックすると、その項目の説明ページに移動します。

はじめにお読みください

このたびはCamera Control Pro 2をお買いあげくださいまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。お読みいただいた後は、ご使用になる方がいつでも見られるようにしてください。

Camera Control Pro 2の概要

- カメラとパソコン接続して、カメラのほとんどの機能をパソコンから操作できます。撮影した画像は、パソコンやメモリーカードに保存できます。対応するカメラの場合、ライブビュー撮影や動画撮影もできます。
- ワイヤレストランスミッターWTシリーズ（WT-1を除く）に対応するカメラでは、無線LANでカメラとパソコンを接続できます。
- 撮影した画像はViewNX 2、Caputre NX 2などのソフトウェアと連携できます。

表記について

- この使用説明書は、カメラやパソコンのOSに関する基礎的な知識をお持ちの方にお読みいただくことを想定しています。基本的な用語や操作などについてはカメラやパソコンの使用説明書などでご確認ください。
- この使用説明書では、古いバージョンのCamera Control Proと区別するときなどを除いてCamera Control Pro 2の「2」を省略して「Camera Control Pro」と表記しています。
- この使用説明書では、D3S、D3X、D3をまとめて「D3シリーズ」、D300S、D300をまとめて「D300シリーズ」、D2XS、D2X、D2HS、D2Hをまとめて「D2シリーズ」、D70S、D70をまとめて「D70シリーズ」、D40、D40Xをまとめて「D40シリーズ」と表記しています。
- Windows 7のすべてのエディション（Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）を「Windows 7」と総称しています。
- Windows Vistaのすべてのエディション（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）を「Windows Vista」と総称しています。
- Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalを「Windows XP」と総称しています。
- OSによってメニュー名が異なる場合は、「Windowsのメニュー名（Mac OSのメニュー名）」と表記しています。
- メニューやフォルダの操作順を、矢印（➞）で示しています。
- コンパクトフラッシュ（CF）カードやSDメモリーカードなどを「メモリーカード」と表記しています。

はじめにお読みください

この使用説明書で使用する画面について

この使用説明書は、Windows と Mac OS を同時に説明しています。説明中では、Windows 7 Ultimate の画面を主に使用していますが、操作方法は Windows/Mac OS でほぼ共通です。画面に表示されている画像は、はめ込み合成によるものが含まれています。

ただし、OS の種類やバージョンの違いによって、画面の外観や操作がこの使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用の OS の使用説明書をご覧ください。

この使用説明書を印刷するには

この使用説明書を印刷する場合は、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の［ファイル］メニューから［印刷］を選択してください。この使用説明書は A5 サイズです。A4 サイズの用紙に印刷する場合は、2 ページを見開きで印刷してください。パソコンの画面で見開き表示にしたときと同じ状態で印刷するには、2 ページ目から印刷を開始してください。

Camera Control Pro のインストール / アンインストール時のご注意

Camera Control Pro をインストール / アンインストールする際は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

重要

Camera Control Pro の各種設定は、カメラの機種により設定内容が異なります。詳しい内容はご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

重要

Camera Control Pro は、パソコンからカメラをコントロールするソフトウェアです。撮影後の画像を編集することはできません。

使用する画面について

ここでは、主に D3S 使用時の画面を使用し、設定内容が大きく異なる画面のみ、他のカメラのものを併記しています。

Mac OS で Camera Control Pro をご使用の場合

Mac OS で D100 をご使用の場合、ファームウェアバージョンが 2.00 以降であることをご確認ください。ファームウェアバージョンが 2.00 より前の場合には、お近くのニコンサービス機関にてバージョンアップしてから Camera Control Pro をご使用ください。

はじめにお読みください

カスタマー登録 / サポート窓口のご案内

カスタマー登録とサポート窓口については、［Welcome］ウィンドウの［Nikon オンライン関連リンクボタン］をクリックすると表示される画面の［カスタマー登録］ボタンをクリックしてください。詳しくは、こちらをご覧ください。

ご注意

- あなたがデジタルカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があるのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。
- この使用説明書の一部あるいは全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- この使用説明書に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。
- この使用説明書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一お気付きの点がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。また、使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書を使用して操作した結果については、当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

商標説明

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickTime は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Adobe、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

この使用説明書について

使用説明書の見方

使用説明書の各ページは以下のようになっています。

①はじめに　操作ガイド　付録

② Camera Control Pro パネルの設定　3/23

③

［露出 2］パネル

［露出 2］パネルでは、次の項目を表示および設定できます。

［フォーカスポイント］ ［フォーカスエリア］	オートフォーカスで撮影するとき、被写体の位置や構図に合わせて、使用するフォーカスポイント（エリア）を上下左右のボタンで選択します。フォーカスポイント（エリア）については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。AF エリアモードとフォーカスモードについては、［ドライブ］パネルをご覧ください。
［測光モード］	カメラに設定されている測光モードが表示されます。 D100 の場合、Camera Control Pro からは変更できません。 D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200 の場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされているときは、Camera Control Pro 上で変更することはできません。チェックされていないときは、Camera Control Pro 上で変更することもできます。 D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5000 の場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］④がチェックされているいないにかかわらず、Camera Control Pro 上で変更することができます。測光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

⑤ 表紙に戻る　Camera Control Pro 2　62

① ここをクリックすると、3 つの章それぞれの最初のページに移動します。現在見ている章が濃く表示されています。
② ページのタイトルです。
③ 機能の説明です。
④ 青色の文字をクリックすると、関連するページに移動します。リンク先から元のページに戻るには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader の［前の画面］ボタン（ ）をクリックしてください。
⑤ ここをクリックすると、表紙に戻ります。

動作環境

Windows

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

CPU	1 GHz 以上の Intel Celeron/Pentium 4/Intel Core シリーズ
OS	Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2） Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3） ・すべてプリインストールされているモデルに対応 ・64bit 版 Windows 7、64bit 版 Windows Vista 上で使用する場合、32bit 互換環境での動作となります
ハードディスク	インストール時および使用時にて、OS 起動ディスクの空き容量が 500 MB 以上 (1 GB 以上推奨)
実装メモリー	Windows 7/Windows Vista：1 GB 以上 (1.5 GB 以上推奨) Windows XP：512 MB 以上 (1 GB 以上推奨)
モニター解像度	解像度 :1024 × 768 ピクセル (XGA) 以上 表示色数 :24 ビットカラー以上
インターフェース	標準装備された USB ポートが必要です。 ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、正しく動作しないことがあります。
対応カメラ	D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5000
その他	・インストールするには CD-ROM ドライブが必要です。 ・いくつかの機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。

Camera Control Pro 2 は最新のバージョンをご使用ください。対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

http://www.nikon-image.com/support/

動作環境

Mac OS

インストールには以下の環境が必要です。インストール前にご確認ください。

CPU	1 GHz 以上の PowerPC G4/PowerPC G5/Intel Core、Xeon シリーズ
OS	Mac OS X Version10.4.11、10.5.8、10.6.4
ハードディスク	インストール時および使用時にて、OS 起動ディスクの空き容量が 500 MB 以上 (1 GB 以上推奨)
実装メモリー	512 MB 以上 (1 GB 以上推奨)
モニター解像度	解像度 :1024 × 768 ピクセル (XGA) 以上 表示色数 :1670 万色以上
インターフェース	標準装備された USB ポートが必要です。 ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、正しく動作しないことがあります。
対応カメラ	D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5000
その他	・インストールするには CD-ROM ドライブが必要です。 ・いくつかの機能を使うには、インターネットに接続できる環境が必要です。

Camera Control Pro 2 は最新のバージョンをご使用ください。対応カメラ、対応 OS の最新情報は、下記アドレスのホームページのサポート情報でご確認ください。

http://www.nikon-image.com/support/

インストール

Camera Control Pro をインストールする前に、以下の点についてご確認ください。

- Camera Control Pro の動作環境をご確認ください。
- ウィルスチェック用のソフトウェアは終了させてください。
- 他のアプリケーションソフトウェアはすべて終了させてください。

ご使用のパソコンの OS 名をクリックし、インストール手順をご覧ください。

Windows　Mac OS

古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合は、古いバージョンがアンインストールされてから、新しい Camera Contorol Pro 2 がインストールされます。

Camera Control Pro 2 がすでにインストールされている場合

すでに Camera Control Pro 2 がインストールされている場合は、インストールの操作中に Camera Control Pro 2 のバージョンに関するダイアログが表示されます。画面の指示にしたがって操作してください。

インストール

Camera Control Pro をインストールする際は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

[Welcome] ウィンドウ

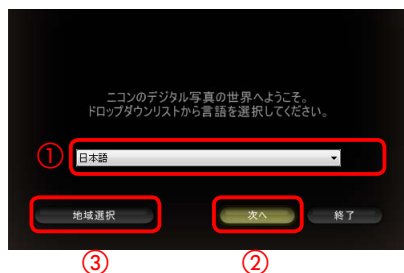
以下の手順で［Welcome］ウィンドウを開いてください。

1 ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、言語選択画面が表示されます。

* 古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合や、Camera Control Pro 2 がすでにインストールされている場合は言語選択画面は表示されず、［Welcome］ウィンドウが自動的に表示されます。

Windows 7 / Windows Vista

CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると［自動再生］ダイアログが表示されます。［Welcome.exe の実行］をクリックしてください。続いて［ユーザーアカウント制御］ダイアログが表示されます。［はい］（Windows Vista は［続行］）ボタンをクリックすると、言語選択画面が表示されます。

2 ［日本語］を選択 ① して［次へ］ボタン ② をクリックすると、［Welcome］ウィンドウが自動的に開きます（［言語］メニューに選択したい言語がない場合は、［地域選択］ボタン ③ をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください）。

[Welcome] ウィンドウが自動的に開かない場合

以下の手順でコンピューターウィンドウを開き、その中の CD-ROM（Camera Control Pro）アイコンをダブルクリックします。

- ***Windows 7***：［スタート］ボタン → ［コンピューター］
- ***Windows Vista***：［スタート］ボタン → ［コンピュータ］
- ***Windows XP***：［スタート］メニュー → ［マイコンピュータ］

インストール

[Welcome］ウィンドウ

インストール
必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

ViewNX 2 ダウンロード
インターネットに接続できる環境の場合、インターネットブラウザーが起動し、ViewNX 2 をダウンロードできるページが表示されます。ViewNX 2 を使用すると、Camera Control Pro で撮影した画像をすぐに確認できます。Camera Control Pro には画像ビューアが内蔵されていないため、ViewNX 2 をダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

Nikon オンライン関連リンクボタン
Capture NX 2 Free Trial、Nikon NEF Codec ダウンロードのページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

終了
[Welcome］ウィンドウを閉じます。

使用説明書
Camera Control Pro の使用説明書を収録した［Manuals］フォルダが開きます。フォルダ内の［INDEX.pdf］をダブルクリックしてから地域（日本語）を選択すると、使用説明書の表紙が開きます。

Camera Control Pro をアンインストールする手順については、Camera Control Pro のアンインストール方法をご覧ください。

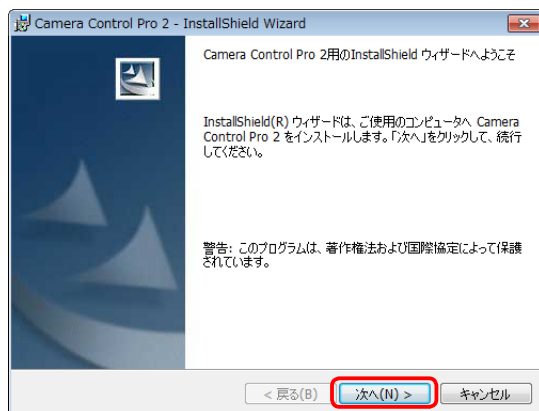
Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

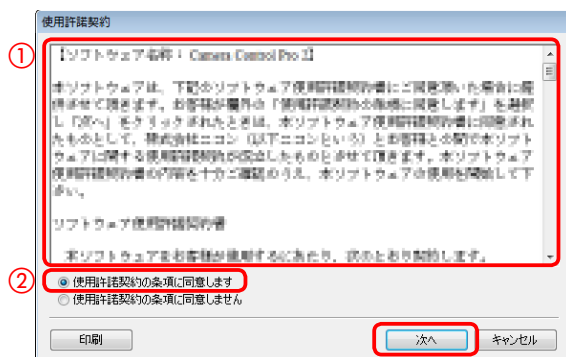
古いバージョンの Camera Control Pro で使用していたビューアは使用できなくなるため、ViewNX 2 をインストールすることをおすすめします。

インストール

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

1 ［インストール］をクリックしてください。

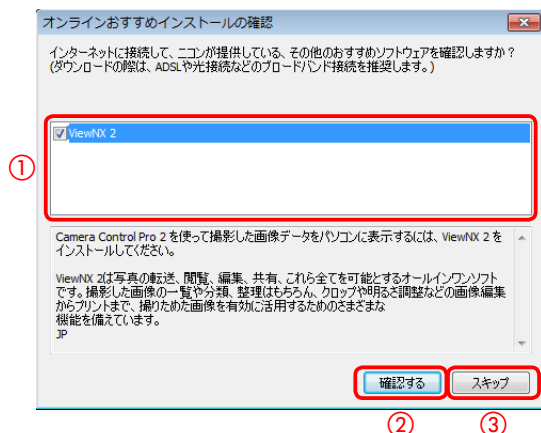
2 ［次へ］ボタンをクリックしてください。

インストール　Windows 4/5

3 使用許諾契約の内容 ① をよくお読みの上、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択 ② してから、［次へ］ボタン ③ をクリックしてください。

次に［お読みください］ウィンドウが表示されます。このマニュアルには書かれていない内容をはじめ、重要な情報が記載されています。必ずお読みのうえ、［次へ］ボタンをクリックしてください。

4 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

インストール

[オンラインおすすめインストール］が表示された場合

[オンラインおすすめインストール］の画面が表示された場合、確認したいおすすめソフトウェアにチェック①を入れて［確認する］ボタン②をクリックすると、インターネットブラウザーが起動し、チェックを入れたソフトウェアのページが表示されます。おすすめソフトウェアを確認するには、インターネットに接続できる環境が必要です。[スキップ］ボタン③をクリックすると、確認せずに次の手順に進みます。

5 [はい］ボタンをクリックし、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

これで、Camera Control Pro のインストールは完了です。

インストール

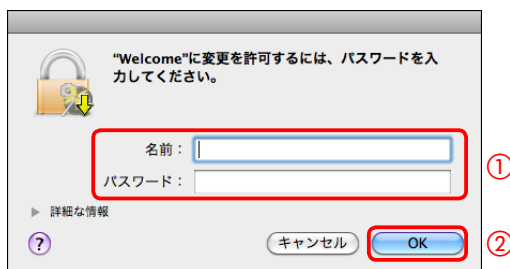
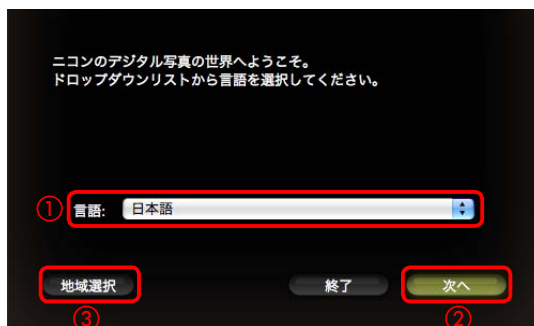
Camera Control Pro をインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

[Welcome] ウィンドウ

以下の手順で［Welcome］ウィンドウを開いてください。

1 ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてから、デスクトップ上の CD-ROM（Camera Control Pro）アイコン（Camera Control Pro）をダブルクリックします。開いたフォルダ内の［Welcome］アイコン（Welcome）をダブルクリックすると、［認証］ダイアログが表示されます。

2 管理者の［名前］と［パスワード］① を入力して、［OK］ボタン ② をクリックすると、言語選択画面が表示されます。

* 古いバージョンの Camera Control Pro がインストールされている場合や、Camera Control Pro 2 がすでにインストールされている場合は言語選択画面は表示されず、［Welcome］ウィンドウが自動的に表示されます。

3 ［日本語］を選択 ① して［次へ］ボタン ② をクリックすると、［Welcome］ウィンドウが自動的に開きます（［言語］メニューに選択したい言語がない場合は、［地域選択］ボタン ③ をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください）。

インストール

[Welcome]ウィンドウ

インストール
必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

ViewNX 2 ダウンロード
インターネットに接続できる環境の場合、インターネットブラウザーが起動し、ViewNX 2 をダウンロードできるページが表示されます。ViewNX 2 を使用すると、Camera Control Pro で撮影した画像をすぐに確認できます。Camera Control Pro には画像ビューアが内蔵されていないため、ViewNX 2 をダウンロードしてインストールすることをおすすめします。

Nikon オンライン関連リンクボタン
Capture NX 2 Free Trial ダウンロードのページ、カスタマー登録などのページに接続できる画面が表示されます。

終了
[Welcome]ウィンドウを閉じます。

使用説明書
Camera Control Pro の使用説明書を収録した[Manuals]フォルダが開きます。フォルダ内の[INDEX.pdf]をダブルクリックしてから地域(日本語)を選択すると、使用説明書の表紙が開きます。

Camera Control Pro をアンインストールする手順については、Camera Control Pro のアンインストール方法をご覧ください。

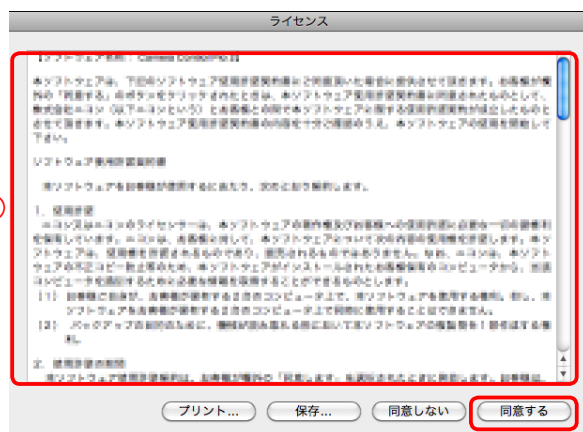
Camera Control Pro がすでにインストールされている場合

古いバージョンの Camera Control Pro で使用していたビューアは使用できなくなるため、ViewNX 2 をインストールすることをおすすめします。

インストール

以下の手順で Camera Control Pro をインストールしてください。

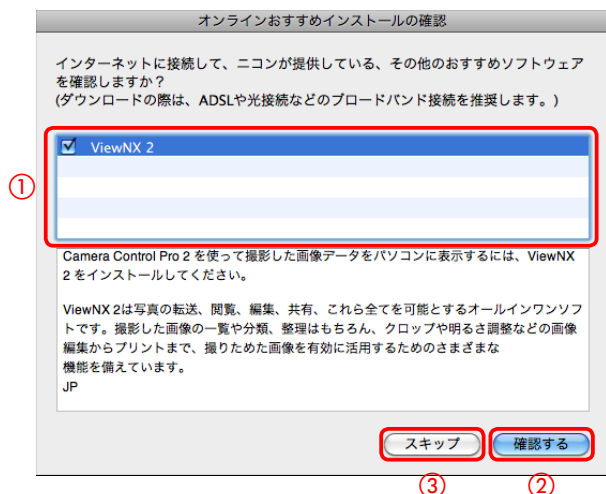
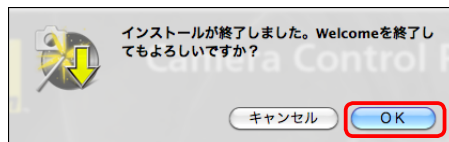
1 ［インストール］をクリックしてください。

2 使用許諾契約の内容 ① をよくお読みの上、［同意する］ボタン ② をクリックしてください。

次に［お読みください］ウィンドウが表示されます。このマニュアルには書かれていない内容をはじめ、重要な情報が記載されています。必ずお読みのうえ、［次へ］ボタンをクリックしてください。

インストール

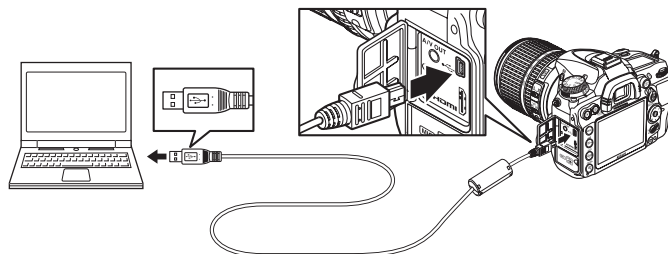
3 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

［オンラインおすすめインストール］が表示された場合

［オンラインおすすめインストール］の画面が表示された場合、確認したいおすすめソフトウェアにチェック①を入れて［確認する］ボタン②をクリックすると、インターネットブラウザーが起動し、チェックを入れたソフトウェアのページが表示されます。おすすめソフトウェアを確認するには、インターネットに接続できる環境が必要です。［スキップ］ボタン③をクリックすると、確認せずに次の手順に進みます。

4 ［OK］ボタンをクリックして、ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してください。

これで、Camera Control Pro のインストールは完了です。

ソフトウェアの起動と終了

Camera Control Pro を起動する

1 カメラの電源を OFF にして、カメラと起動済みのパソコンを USB ケーブルで接続します。パソコンとの接続方法についてはカメラの使用説明書をご覧ください。

ワイヤレストランスミッター（WT-2、WT-3、WT-4）による無線 LAN または有線 LAN 接続について

Camera Control Pro は、ワイヤレストランスミッターで無線 LAN または有線 LAN 接続したカメラを、PC モードに設定して使用することもできます。接続方法についてはご使用のワイヤレストランスミッターの使用説明書をご覧ください。接続後の動作は、カメラを USB ケーブルで接続した場合と同様です。

Camera Control Pro を起動する前に

D100：露出モードを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかにセットしてください。

D3 シリーズ D2 シリーズ D300 シリーズ D200 D7000：レリーズ（動作）モードを［ミラーアップ撮影］以外にセットしてください。

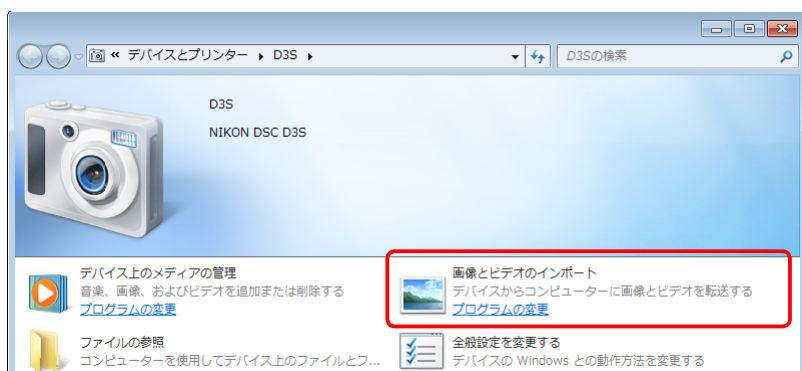
USB の設定について

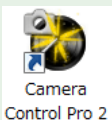
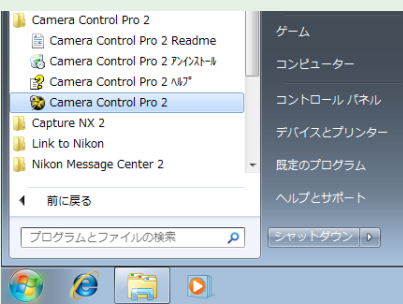
カメラのセットアップメニューに「USB」がある機種の場合、Camera Control Pro を起動する前に［PTP］または［MTP/PTP］に設定してください。

ソフトウェアの起動と終了

2 カメラの電源を ON にします。
Nikon Transfer または PictureProject Transfer が起動したときは、終了してください。

Windows 7 のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

下の画面が表示されたときは、[画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックし、画面に従って使用するプログラムとして Camera Control Pro 2 を選びます。

Windows Vista/XP のパソコンにカメラを USB ケーブルで接続した場合

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続すると、起動に使うプログラムを選択するダイアログが表示されることがあります。

［Camera Control Pro 2 使用］を選択し、Camera Control Pro を起動してください。

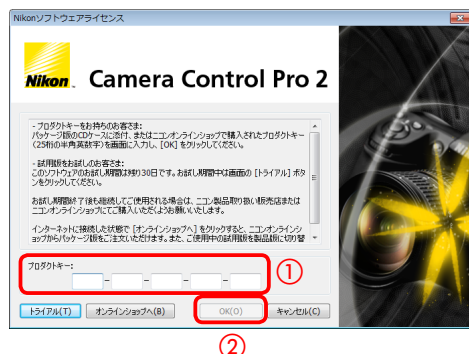
ソフトウェアの起動と終了

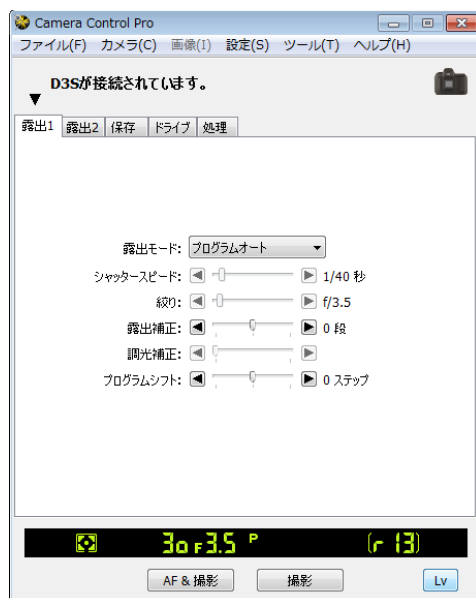
3 Camera Control Pro を以下の方法で起動します。

	Windows	Mac OS
方法①	デスクトップ上の［Camera Control Pro 2］のショートカットアイコンをダブルクリックする。 Camera Control Pro 2	Dock に登録したアイコンをクリックする。 Camera Control Pro 2
方法②	スタートのプログラム一覧 →［Camera Control Pro 2］→［Camera Control Pro 2］を選択する。 Camera Control Pro 2 Camera Control Pro 2 Readme Camera Control Pro 2 ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ Camera Control Pro 2 ﾍﾙﾌﾟ Camera Control Pro 2 Capture NX 2 Link to Nikon Nikon Message Center 2 前に戻る プログラムとファイルの検索 ゲーム コンピューター コントロール パネル デバイスとプリンター 既定のプログラム ヘルプとサポート シャットダウン	［アプリケーション］→［Nikon Software］→［Camera Control Pro 2］の順にフォルダを選択し、［Camera Control Pro 2］アイコンをダブルクリックする。 Camera Control Pro 2

プロダクトキーについてのご注意

Camera Control Pro を初めて起動したときは、プロダクトキーを入力するダイアログが表示されます。パッケージに記載されているプロダクトキーを入力①して、［OK］ボタンをクリック②してください。

- プロダクトキーは半角で入力してください。
- プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。
- アップグレード版の Camera Control Pro の場合は、前のバージョンのプロダクトキーも必要になります。

ソフトウェアの起動と終了

4 ［Camera Control Pro］ウィンドウが起動します。

Windows

Mac OS

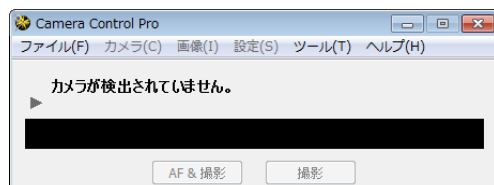
ソフトウェアの起動と終了

プロダクトキーの入力

ソフトウェアの起動時にプロダクトキーの入力画面が表示された場合は、パッケージに記載されているプロダクトキーを入力してから、［OK］ボタンをクリックしてください。プロダクトキーは再インストールの際などに必要になりますので、紛失しないようご注意ください。

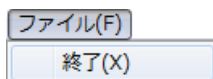
トライアル版をご使用の場合は、インターネットに接続できる環境が必要です。起動のたびに、プロダクトキーの入力画面が表示されます。［トライアル］ボタンをクリックすると、Camera Control Pro をご試用（30 日間）いただけます。［オンラインショップへ］ボタンをクリックすると、プロダクトキーの購入サイトが表示されます。

重要

Camera Control Pro を起動する前に、カメラとパソコンが接続されていない、またはカメラの電源が OFF になっている場合には、［Camera Control Pro］ウィンドウが以下のように表示されます。この場合、主な機能を使用することができません。カメラとパソコンを接続し、カメラの電源を ON にしてください。

ソフトウェアの起動と終了

Camera Control Pro を終了する

Windows

［ファイル］メニューから［終了］を選択する。

Mac OS

[Camera Control Pro] メニューから [Camera Control Pro を終了] を選択する。

ソフトウェアの起動と終了

カメラとパソコンの接続を解除する

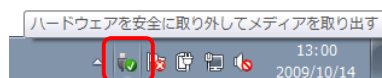
カメラとパソコンの接続を解除する際は、必ず以下の手順をお守りください。

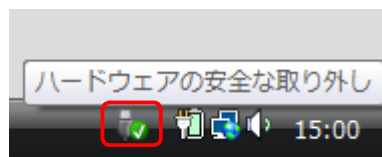
USB 通信方式が「MTP/PTP」または「PTP」のカメラと接続した場合：

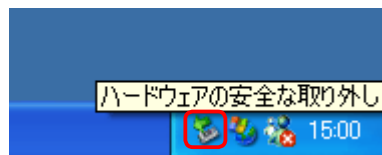
カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを取り外してください。

USB 通信方式が「Mass Storage」のカメラと接続した場合：

Windows 7

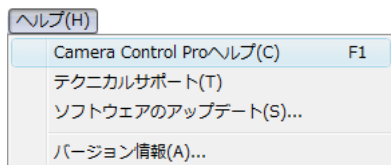
パソコン画面右下の「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」アイコンをクリックして「リムーバルディスク（F:）※の取り出し」を選択してください。

Windows Vista

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置 - ドライブ (F:) ※を安全に取り外します。］を選択してください。

Windows XP

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして［USB 大容量記憶装置デバイスードライブ (F:) ※を安全に取り外します。］を選択してください。

※ ドライブ（F:）の「F」は、ご使用のパソコンの環境によって異なります。

ヘルプの表示

操作方法についてわからないことがあった場合は、ヘルプをご参照ください。

［ヘルプ］メニューから［Camera Control Pro ヘルプ］を選択すると、Camera Control Pro のヘルプ画面が表示されます。

Windows

Mac OS

ソフトウェアの更新

Camera Control Pro をインストールすると、Camera Control Pro などの更新情報をチェックするソフトウェアのニコンメッセージセンター（Nikon Message Center 2）がインストールされます。ご使用のパソコンがインターネットに接続されていれば、Camera Control Pro の更新情報などを自動的にチェックします。更新情報がある場合は、ダイアログが表示されます。更新情報の表示タイミングについて、詳しくはニコンメッセージセンター (Nikon Message Center 2) のヘルプを参照してください。

メニューから Camera Control Pro を更新する場合

［ヘルプ］メニューから［ソフトウェアのアップデート］を選択しても、新しいバージョンの Camera Control Pro があるかをチェックできます。

ソフトウェアアップデートについてのご注意

ソフトウェアをアップデートする際は、ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境である必要があります。また、インターネットサービスプロバイダの使用料や電話料金がかかることがあります。

接続の解除について

ダイアルアップ接続でアップデートする場合、アップデートが完了しても、インターネット接続は解除されません。手動で接続を解除してください。

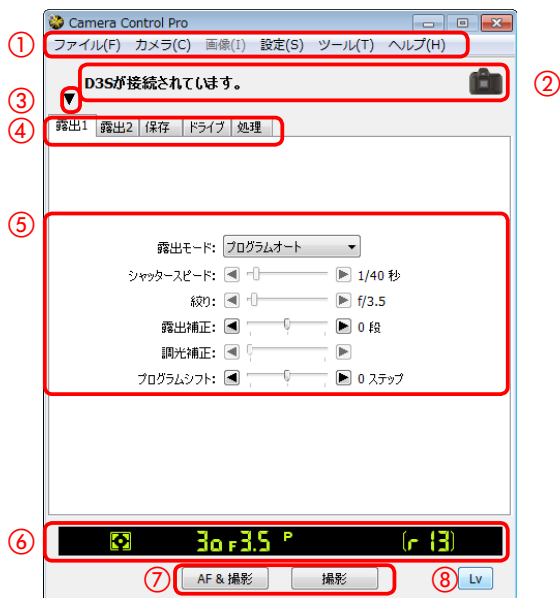
プライバシーポリシーについて

本サービスにより提供されたお客様の個人情報を、お客様の同意なしに第三者に開示することはございません。

操作ガイド

Camera Control Pro の画面構成

Camera Control Pro の画面構成は以下のようになっています（画面は D3S の例です）。

Windows

① **メニューバー**

② 接続表示：カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。

③ 表示切り換えボタン ▼ / ▶：パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

④ **パネル選択用タブ**：クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。

⑤ Camera Control Pro パネル：カメラ側の各種設定を行うことができます。

⑥ LCD 領域：カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されています。

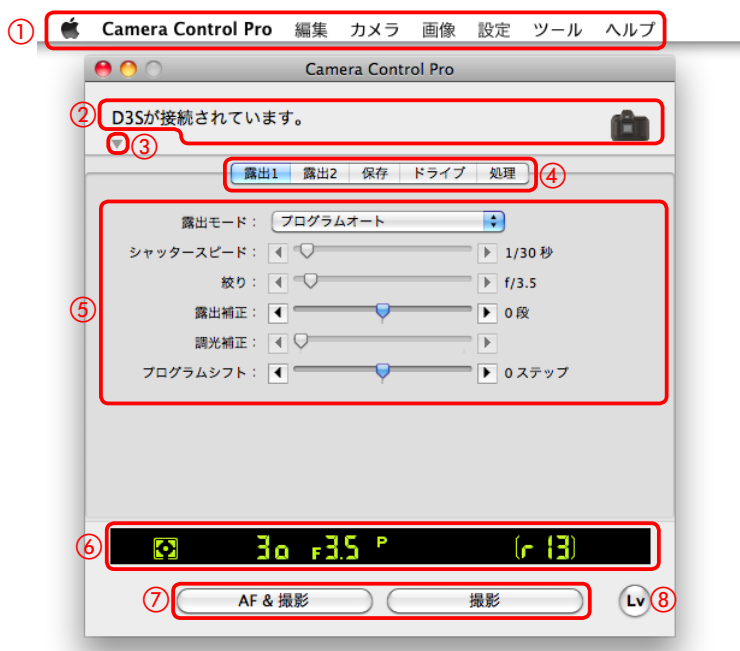
⑦ 撮影ボタン：カメラのシャッターボタンと同様の機能です。ショートカットキーを割り当てることもできます。

⑧ ライブビュー起動ボタン：［ライブビュー］ウィンドウの表示・ライブビューの開始を行います (ライブビュー可能なカメラのみ)。

表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。［ツール］メニューの［カメラコントロールパネルを隠す］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。［カメラコントロールパネルを表示する］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

Camera Control Pro の画面構成　2/2

Mac OS

① **メニューバー**

② 接続表示 : カメラの接続状態、接続されているカメラの名前などが表示されています。

③ 表示切り換えボタン ▼ / ▶ : パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

④ **パネル選択用タブ** : クリックすると、該当する Camera Control Pro パネルが開きます。

⑤ Camera Control Pro パネル : カメラ側の各種設定を行うことができます。

⑥ LCD 領域 : カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されています。

⑦ 撮影ボタン : カメラのシャッターボタンと同様の機能です。ショートカットキーを割り当てることもできます。

⑧ ライブビュー起動ボタン : ［ライブビュー］ウィンドウの表示・ライブビューの開始を行います (ライブビュー可能なカメラのみ)。

表示の切り換えについて

表示の切り換えは、メニューで行うこともできます。［ツール］メニューの［カメラコントロールパネルを隠す］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを非表示にします。［カメラコントロールパネルを表示する］を選択すると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルを表示します。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 1/7

Camera Control Pro を起動した状態で撮影を行うと、撮影した画像はカメラ内のメモリーカードには記録されず (カード同時記録対応カメラを除く)、パソコンのハードディスクに保存されます。

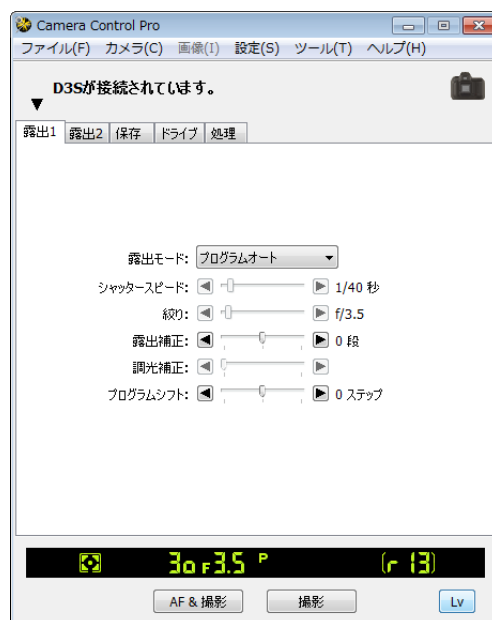
撮影するには、次の 2 通りの方法があります。

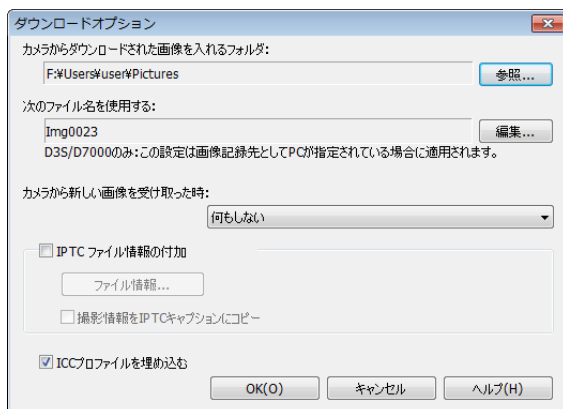
パソコンから撮影する	[Camera Control Pro] ウィンドウの [AF & 撮影] / [撮影] ボタンを使うと、パソコンから撮影できます。
カメラ本体で直接撮影する	[カメラ] メニューで [カメラ本体のコントロールを有効にする] にチェックを入れると、カメラ本体で撮影できます。

カード同時記録対応カメラの場合 (D3S D7000)

撮影した画像を、パソコンのハードディスクまたはカメラのスロットに挿入したメモリーカードに記録できます。パソコンとメモリーカード両方に記録することもできます。

詳しくは [画像記録先] をご覧ください。

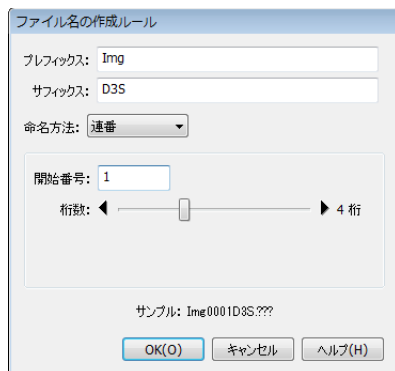
1 Camera Control Pro を起動します。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する

2 ［ツール］メニューの［ダウンロードオプション ...］を選択します。
次のような［ダウンロードオプション］ダイアログが表示されます。

3 撮影画像の保存先、ファイル名、転送後の操作、ファイル情報の設定を行います。

［カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ］

保存先フォルダ名が表示されます。フォルダを変更する場合は、［参照］（Mac OS では［選択］）ボタンをクリックして、撮影した画像を保存するフォルダを指定します。

［次のファイル名を使用する］

保存するファイル名が表示されます。ファイル名を変更する場合は、［編集］ボタンをクリックします。［ファイル名の作成ルール］ダイアログが表示されます。

ステップ３次ページへ続く

これから撮影する画像をハードディスクに保存する 3/7

ファイル名は「プレフィックス + 識別子 + サフィックス + 拡張子」で構成されます。変更したファイル名は、画面下の［サンプル］で確認できます。

サンプル：Img0001D3S.???

プレフィックス　識別子　サフィックス　拡張子

拡張子について

変更するファイル名には、自動的に以下の拡張子が付きます。

JPEG 画像	.JPG
TIFF 画像	.TIF
RAW 画像	.NEF
イメージダストオフデータ	.NDF

［プレフィックス］	ファイル名の先頭に使用したい文字を入力できます。
［サフィックス］	ファイル名の末尾に使用したい文字を入力できます。
［命名方法］	識別子の付け方を［連番］、［日付］、［日付と時間］から選択できます。連番の場合は開始番号と桁数 (2 ～ 8 桁) を設定できます。

ファイル名を変更してから［OK］ボタンをクリックすると、［ダウンロードオプション］ダイアログに戻ります。

ステップ 3 次ページへ続く

ファイル名の制限事項について

ファイル名を指定する際には、次のことに留意してください。

Windows

ファイル名には、「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「″」、「<」、「>」、「|」は使用できません。「.」は、ファイル名の先頭または末尾では使用できません。ファイル名は半角で 100 文字 (全角で 50 文字) 以内になるように指定してください。

Mac OS

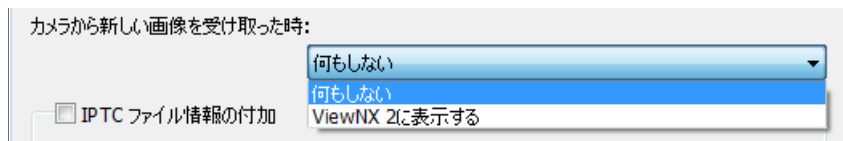
ファイル名は 20 文字 (半角・全角とも) 以内になるように指定してください。また、ファイル名で「:」は使用できません。

［画像記録先］が［PC+ カード］または［カード］に設定されている場合 (D3S D7000)

［保存］パネルの［画像記録先］が［PC+ カード］または［カード］の場合、保存するファイル名はメモリーカードに記録するファイル名と同じになります。ただし、既存のファイルとファイル名が重複する場合は、アンダーバーと 4 桁の連番が自動的に追加されます。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　

[カメラから新しい画像を受け取った時]

カメラから新しい画像を受け取った時:
何もしない
何もしない
ViewNX 2に表示する
IPTC ファイル情報の付加

カメラから新しい画像を受け取ったときの動作を設定できます。

[何もしない]	撮影した画像を直接ハードディスクに保存します。
[ViewNX に表示する] **[ViewNX 2 に表示する]** （ViewNX または ViewNX 2 がインストールされている場合に表示）	撮影した画像をハードディスクに保存した後、ViewNX または ViewNX 2 が自動的に起動し、撮影直後にパソコンで画像を確認することができます。ViewNX または ViewNX 2 の使用方法についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。ViewNX または ViewNX 2 は最新のバージョンをご使用ください。
[Capture NX の監視フォルダに保存する] ※ **[Capture NX 2 の監視フォルダに保存する]** (Capture NX または Capture NX 2 で監視フォルダが設定されている場合に表示)	別売の Capture NX または Capture NX 2 の「監視フォルダ」で設定しているフォルダ内に撮影した画像が保存されます。保存された画像は、Capture NX または Capture NX 2 であらかじめ設定していた自動保存処理 (バッチ処理) が適用されます。この機能を使用する場合は、監視フォルダが設定されている Capture NX または Capture NX 2 を起動してください。監視フォルダの機能については、それぞれの使用説明書をご覧ください。接続したカメラが Capture NX または Capture NX 2 に対応しているかどうかは、それぞれの使用説明書をご覧ください。

※ Capture NX 2 がインストールされている場合は、Capture NX 2 が優先され、この項目は表示されません。

ステップ３次ページへ続く

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　5/7

［IPTC ファイル情報の付加］

チェックボックスをオン ☑ にすると、転送する画像ファイルに［ファイル情報］ダイアログで設定した情報を付加します。また、このチェックボックスをオン ☑ にすると、［ファイル情報］ボタンと［撮影情報を IPTC キャプションにコピー］チェックボックスが使えるようになります。

［ファイル情報］ボタン

キャプション、キーワードなどのファイル情報の読み込みと保存を行うことのできる［ファイル情報］ダイアログを表示します。

［撮影情報を IPTC キャプションにコピー］

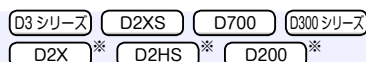
チェックボックスをオン ☑ にすると、Camera Control Pro で撮影した画像の撮影情報がファイル情報のキャプションにコピーされます。

［ICC プロファイルを埋め込む］

チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影した画像が JPEG または TIFF の場合に、カメラで設定した色空間の ICC プロファイルを埋め込んだ状態で転送します。

4 設定が完了したら、［OK］ボタンをクリックします。［ダウンロードオプション］ダイアログで設定した内容が確定されます。

画像真正性検証機能が ON に設定されている場合

D3 シリーズ　D2XS　D700　D300 シリーズ　D2X※　D2HS※　D200※

※ カメラのファームウェア バージョンが 2.00 の場合のみ

- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、［IPTC ファイル情報の付加］チェックボックスをオン ☑ にしても、画像の保存時に IPTC ファイル情報は付加されません。また、［ICC プロファイルを埋め込む］のチェックボックスをオン ☑ にしても、ICC プロファイルは画像に埋め込まれません。
- 画質モードが TIFF に設定されている場合、「画像真正性検証機能」は ON に設定されていても、無効になります。
- カメラのセットアップメニューの「画像真正性検証機能」が ON の場合、［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］または［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］をチェックしても、縦横位置情報は付加されません。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　6/7

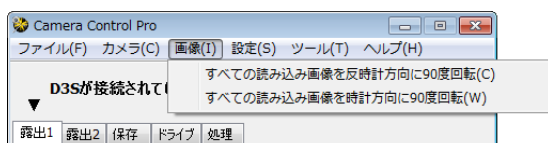
［画像記録先］が［PC+ カード］または［カード］に設定されている場合（D3S D7000）

［IPTC ファイル情報の付加］チェックボックスをオン ☑ にしても、メモリーカードに記録される画像には画像の保存時に IPTC ファイル情報は付加されません。また、［ICC プロファイルを埋め込む］のチェックボックスをオン ☑ にしても、ICC プロファイルはメモリーカードに記録される画像には画像に埋め込まれません。

画像の回転について

セットアップメニューで［縦横位置情報の記録］（D70 シリーズ、D50 では［姿勢情報記録］）が設定できるカメラの場合、カメラ側ですでに記録する設定（ON）になっていると、［画像］メニューで縦横位置情報の設定を行うことはできません。ライブビューモードをサポートするカメラの場合、［ライブビュー］ウィンドウで設定が可能です。

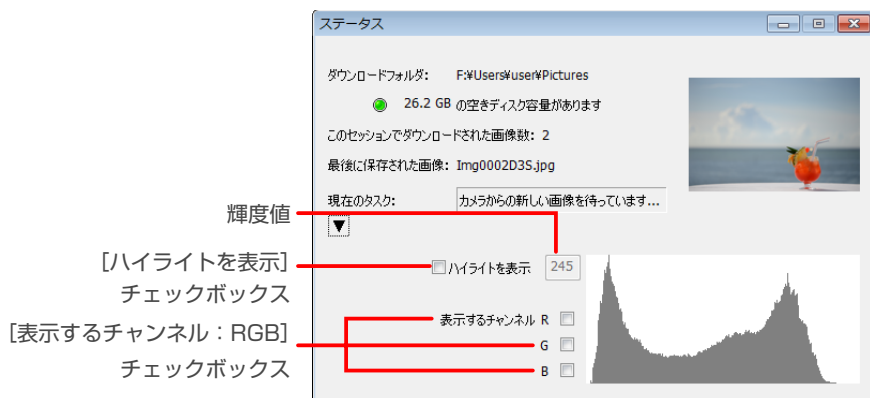
［縦横位置情報の記録］に対応していないカメラでも、カメラの向きに合わせて、撮影する画像に縦横位置情報を付加することができます。カメラを縦位置にして撮影する場合に便利です。縦横位置情報を付加すると、ViewNX、ViewNX 2、別売の Capture NX 2 などの縦横位置情報を反映できるニコン製のソフトウェアで画像を開くときに、自動的に回転して表示されます。

画像を回転する場合は、［画像］メニューから［すべての読み込み画像を反時計方向に 90 度回転］または［すべての読み込み画像を時計方向に 90 度回転］を選択します。選択したメニュー項目にはチェックが付けられます。チェックの付いたメニュー項目を再度選択すると、チェックが外れます。チェックを外すと、縦横位置情報を付加しません。カメラの向きにかかわらず、撮影する画像の向きは横位置となります。

連写時の画像の回転について（D3 シリーズ D700 D300S D100 D7000 を除く）

カメラの動作モードによっては、連写時の画像の回転方向が連写の 1 番目の画像の向きに固定されます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

これから撮影する画像をハードディスクに保存する　7/7

5 [Camera Control Pro] ウィンドウの [AF & 撮影] / [撮影] ボタンまたはカメラのシャッターボタンを押して撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す [ステータス] ダイアログが起動します。

[ステータス] ダイアログの下の部分に表示されている切り換えボタン ▶ をクリックすると、最後に撮影された画像のおおよそのヒストグラムが表示されます。

[ハイライトを表示] チェックボックスをオン ☑ にすると、[ステータス] ダイアログ上の画像のテキストボックスに入力した輝度値を超えた部分が黒く点滅してハイライト表示 * されます。

* ハイライトとは、画像の中の非常に明るい部分です。露出補正などで画像の明るさを調整する際に、点滅しているハイライト部分を目安にしてください。

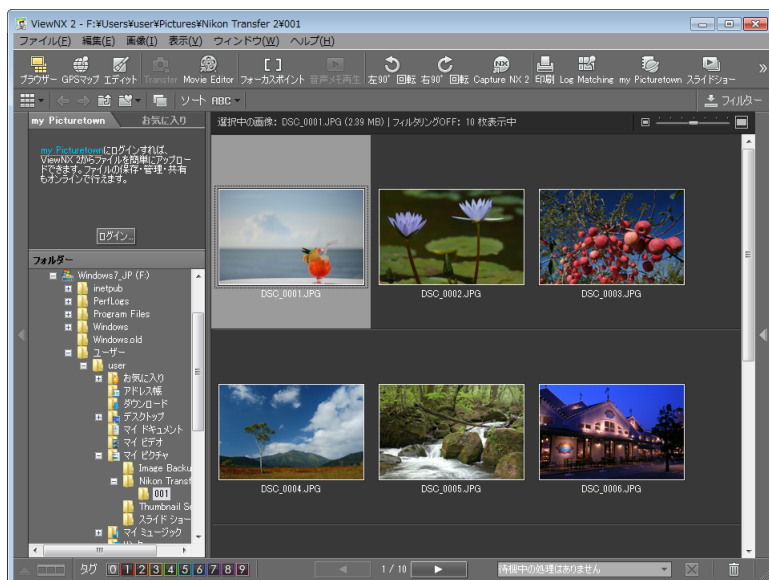
[表示するチャンネル：RGB] の各チェックボックスをオン ☑ にすることにより、赤、緑、青のチャンネルごとの個別ヒストグラム * も表示することができます。

* ヒストグラムとは、画像の明るさ（輝度）の分布を表すグラフのことです。横軸は画像の明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

撮影した画像を確認する

［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラから新しい画像を受け取った時］で［ViewNX に表示する］または［ViewNX 2 に表示する］を選択すると、画像を撮影してハードディスクに保存した後、選択したアプリケーションが起動して、撮影した画像を表示します。

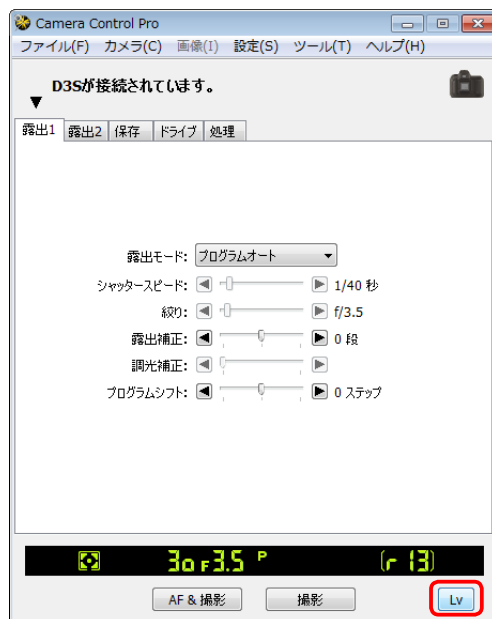
このとき、［ダウンロードオプション］ダイアログの［カメラからダウンロードされた画像を入れるフォルダ］で設定されたフォルダ内の画像を表示します。

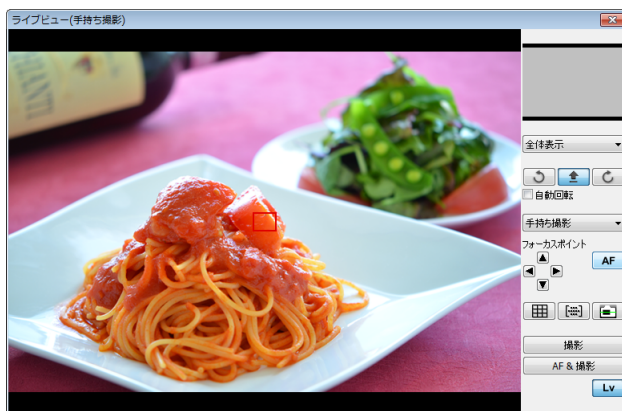
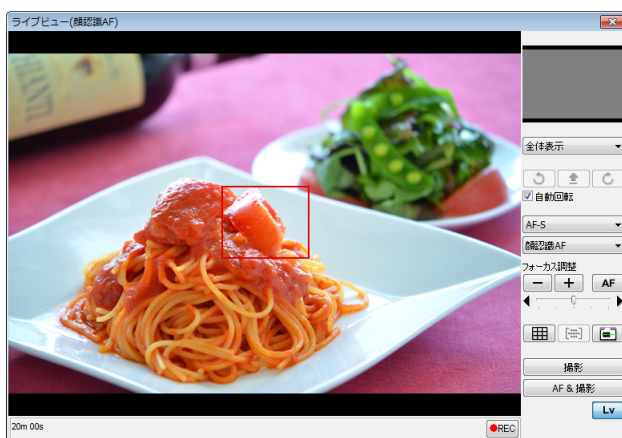
ViewNX または ViewNX 2 の使用方法についてはそれぞれのヘルプをご覧ください。ViewNX または ViewNX 2 は最新のバージョンをご使用ください。

ViewNX または ViewNX 2 ですぐに画像を確認したい場合

ViewNX または ViewNX 2 の［ファイル］メニューで、［Camera Control Pro 2 で撮影した画像を直ちに表示］をチェックすると、Camera Control Pro で撮影するたびに最新の画像が画像表示エリアに表示されます。

ライブビュー撮影

ライブビュー撮影が可能なカメラを接続した場合、［ライブビュー］ウィンドウで被写体を見ながら撮影できます。

1 ［Lv］ボタンをクリックします。

ライブビュー撮影

2 ［ライブビュー］ウィンドウが表示されます。［ライブビュー］ウィンドウは、接続したカメラによって異なります。

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズ

D90/D7000/D5000

ライブビュー撮影時のご注意

［ライブビュー］ウィンドウが表示されている場合、カメラ本体側での操作はできません。

ライブビュー撮影

3 各カメラの［ライブビュー］ウィンドウの説明を参照して、使用したい項目を設定します。

詳しくは「D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (手持ち撮影)」、「D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (三脚撮影)」または「D90/D7000/D5000 のライブビュー」をご覧ください。

4 ［撮影］ボタンまたは［AF & 撮影］ボタンをクリックして撮影を行います。画像の保存処理の進行状態を表す［ステータス］ダイアログが起動します。

5 ライブビュー撮影を終了するには、［ライブビュー］ウィンドウの［Lv］ボタンをクリックします。ライブビュー撮影を再開したい場合は、再度［Lv］ボタンをクリックします。

ライブビュー撮影中にカメラとの接続が切れた場合

カメラとの接続が切れた場合、［ライブビュー］ウィンドウは自動的に閉じられます。

ライブビュー撮影

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (手持ち撮影)

①	ライブビュー 画像表示エリア	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント（□）が表示されます。
②	拡大エリア表示領域	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	表示倍率選択	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	手動回転ボタン	3 つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑤	［自動回転］	このチェックボックスがオンの場合、カメラの傾きに応じて［ライブビュー］ウィンドウが自動的に回転します。
⑥	ライブビューモード選択	ライブビューモードの切り替えを行います。
⑦	［フォーカスポイント］	各ボタンの方向に現在のフォーカスポイントを移動できます。
⑧	［AF］ボタン	通常のオートフォーカスによるピント合わせと測光を行います。
⑨	格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。

ライブビュー撮影

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (手持ち撮影)		
⑩	AF エリア表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に AF エリアが表示されます。
⑪	水準器表示ボタン D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) D3x D3s D700 D300s	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑫	［撮影］ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑬	［AF & 撮影］ボタン	通常のオートフォーカスを行った後、撮影します。
⑭	［Lv］ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (三脚撮影)

①	**ライブビュー画像表示エリア**	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント（□）が表示されます。
②	**拡大エリア表示領域**	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	**表示倍率選択**	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	**手動回転ボタン**	3 つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑤	**[自動回転]**	このチェックボックスがオンの場合、カメラの傾きに応じて［ライブビュー］ウィンドウが自動的に回転します。
⑥	**ライブビューモード選択**	ライブビューモードの切り替えを行います。
⑦	**[フォーカス調整]**	「+」/「-」ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」をクリックすると無限遠側、「-」をクリックすると近接側に調整できます。

ライブビュー撮影

D3 シリーズ /D700/D300 シリーズのライブビュー (三脚撮影)	
⑧ ［AF］ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑨ 格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑩ 水準器表示ボタン D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上) D3x D3s D700 D300s	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑪ ［撮影］ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑫ ［AF & 撮影］ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑬ ［Lv］ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。

ライブビュー撮影

D90/D7000/D5000 のライブビュー

①	**ライブビュー画像表示エリア**	カメラから取得したプレビュー画像がリアルタイムに表示されます。ライブビュー画像上には、現在のフォーカスポイント（□）が表示されます。画面上の任意の場所をクリックすると、その場所にフォーカスポイントが移動します。AF モードが顔認識 AF の場合は、カメラにより自動認識された顔の枠 ( ) とフォーカスポイント ( ) が表示されます。
②	**拡大エリア表示領域**	ライブビューの領域を拡大表示している場合に、構図の全体が縮小表示され、拡大表示中の部分が囲んで表示されます。
③	**表示倍率選択**	ライブビュー画像の拡大率を選択できます。
④	**手動回転ボタン**	3 つのボタンのいずれか一つを選択することにより、ライブビュー画像の回転が行えます。
⑤	**［自動回転］**	このチェックボックスがオンの場合、カメラの傾きに応じて［ライブビュー］ウィンドウが自動的に回転します。
⑥	**AF サーボモード** D7000	ライブビュー中または動画撮影時の AF サーボ設定の切り替えを行います。

ライブビュー撮影

D90/D7000/D5000 のライブビュー		
⑦	AF モード選択	ライブビュー中の AF モードの切り替えを行います。D7000、D5000 の場合、［ターゲット追尾］は選択できません。
⑧	［フォーカス調整］	「+」/「–」ボタンでフォーカス位置を調整できます。各ボタンをクリックしたときのフォーカス移動量は、フォーカス移動量スライダーで変更します。「+」をクリックすると無限遠側、「–」をクリックすると近接側に調整できます。
⑨	［AF］ボタン	クリックと同時にコントラスト AF によるオートフォーカスが実行されます。オートフォーカスが実行中の場合、このボタンをクリックすると実行中のオートフォーカスが中止されます。
⑩	格子線表示ボタン	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に格子線が表示されます。
⑪	水準器表示ボタン D7000	このボタンがオン状態の場合、ライブビュー画像上に水準器が表示されます。
⑫	［撮影］ボタン	クリックと同時に撮影します。
⑬	［AF & 撮影］ボタン	コントラスト AF によるオートフォーカスを行った後、撮影します。ピントが合わなかった場合は撮影しません。
⑭	［Lv］ボタン	ライブビュー中の場合、ライブビューを停止します。ライブビュー停止中の場合、ライブビューを開始します。
⑮	［● REC］ボタン D7000	動画撮影停止時にクリックすると、動画撮影を開始します。再度クリックすると、動画撮影を停止します。
⑯	動画記録残り時間 D7000	動画撮影可能な残り時間を表示します。

ライブビュー撮影時のご注意

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、［ライブビュー］ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、［ライブビュー］ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。その他のライブビュー撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

動画撮影について

動画撮影中に［● REC］ボタンを押すか、ライブビューを停止すると動画撮影を停止します。動画記録残り時間が終了するか、メモリーカードの容量が不足すると自動的に停止します。

ライブビュー撮影

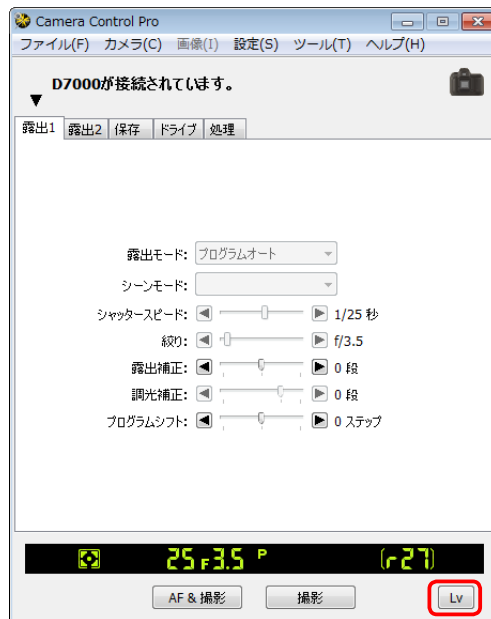
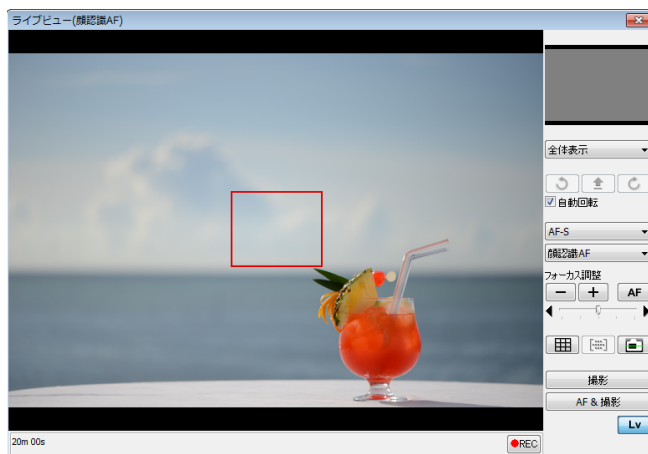
ライブビュー動作中の制限事項について

ライブビュー動作中は、［Camera Control Pro］ウィンドウの以下の項目が操作できません。ライブビューを一度停止してから操作してください。

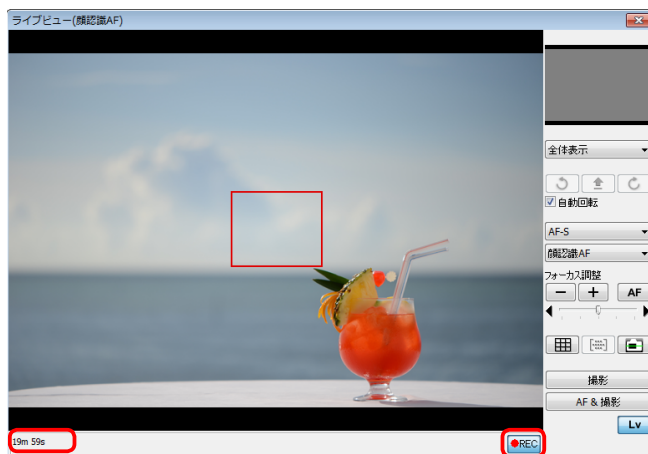
項目	操作できない内容
［カメラ］メニュー	［ライブビュー］を除く全項目
［設定］メニュー	全項目
［ツール］メニュー	ダウンロードオプション、オプション (Windows)
［Camera Control Pro］メニュー	環境設定 (Mac OS)
［露出 2］パネル	• ［フォーカスポイント］（コントラスト AF 時のみ） • ［測光モード］ • ［ホワイトバランス］で［蛍光灯］選択時に表示される、蛍光灯種別選択メニュー（D3 のみ）
［保存］パネル	［撮像範囲］の設定（［DX 自動切り替え］を含む）
［ドライブ］パネル	• ［AF エリアモード］（コントラスト AF 時のみ） • ［フォーカスモード］（D90/D7000/D5000） • レンズの［編集］ボタン
［処理］パネル	• ピクチャーコントロールの［編集］ボタン • ［カスタムピクチャーコントロール］ボタン

動画撮影

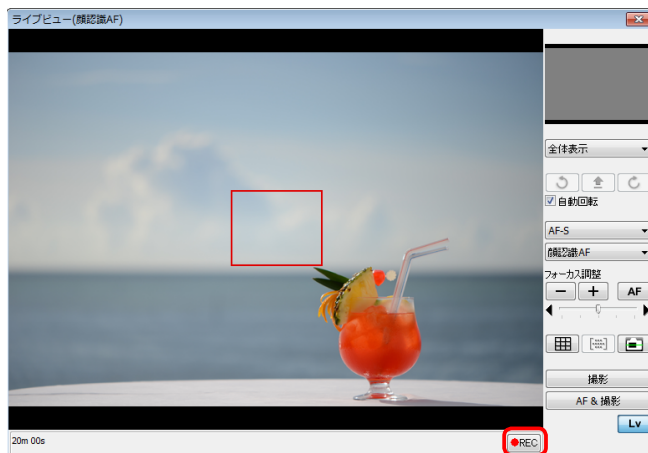
Camera Control Pro 2 の動画撮影に対応したカメラを接続した場合、[ライブビュー] ウィンドウで音声付きの動画を撮影できます。カメラにメモリーカードが挿入されていない場合、動画は撮影できません。必ずカメラにメモリーカードを挿入してください。

1 [Lv] ボタンをクリックします。

2 [ライブビュー] ウィンドウが表示されます。

動画撮影

3 [ライブビュー] ウィンドウと［保存］パネルの［動画］タブで動画の設定を行います。動画撮影中は［ライブビュー］ウィンドウの［自動回転］や［フォーカス調整］は設定できません。

4 ［● REC］ボタンをクリックして、動画撮影を開始します。

［ライブビュー］ウィンドウの左下に表示される、動画記録残り時間が減り始めます。メモリーカードが挿入されていない場合、警告が表示され、撮影は行われません。

動画撮影

5 動画撮影を停止する場合は、再度［● REC］ボタンをクリックします。

ライブビュー残り時間表示について

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあります。カメラ内部がある一定の温度まで上昇すると、高温によるカメラのダメージを抑えるために、自動的にライブビューを終了します。ライブビューが終了する 30 秒前から、［ライブビュー］ウィンドウの左上に残り時間のカウントダウンが表示されます。撮影時の気温が高い場合は、［ライブビュー］ウィンドウ表示直後にカウントダウンが表示されることもあります。

動画撮影時のご注意

動画記録残り時間が終了するか、メモリーカードの容量が不足すると動画撮影は自動的に停止します。その他の動画撮影時の注意事項については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

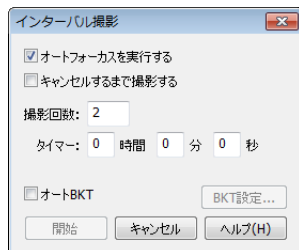
動画をパソコンにダウンロードするには

［保存］パネルの［動画］タブで［撮影後 PC にダウンロード］チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影後に動画ファイルをパソコンにダウンロードします。オフ ☐ にしている場合、動画ファイルはメモリーカードにのみ保存されます。

インターバル撮影

インターバル撮影とは、一定間隔で複数枚を連続撮影することです。タイマーを設定し、自動で撮影することが可能です。

1 ［カメラ］メニューの［インターバル撮影］を選択します。

［インターバル撮影］ダイアログが表示されます。

2 次の項目を設定します。

［オートフォーカスを実行する］

チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影ごとにオートフォーカスを実行します。ただし、オフ ☐ の場合でも、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合はオートフォーカスを実行します。

［キャンセルするまで撮影する］

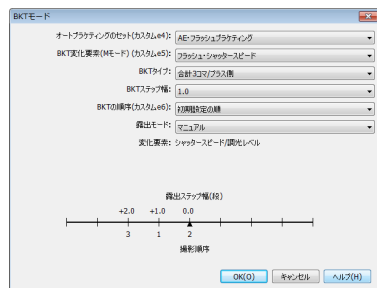
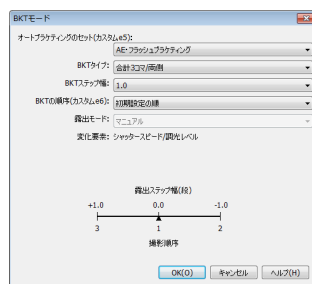
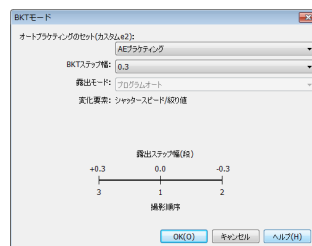
チェックボックスをオン ☑ にすると、インターバル撮影進行ダイアログの［撮影を終了］ボタンをクリックするまでインターバル撮影を行います。

ステップ２次ページへ続く

インターバル撮影

BKT モードの設定（D100 D60 D40 シリーズ を除く）

［オート BKT］チェックボックスをオン にすると、オートブラケティングが実行されます。［BKT 設定］ボタンをクリックすると、［BKT モード］ダイアログでブラケティングを設定できます。

［オート BKT セット］	オートブラケティングを行う場合のブラケティングの種類を設定します。
［BKT 変化要素（M モード）］ D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200	露出モードを［M］にセットして、AE･SB ブラケティング、または AE ブラケティングを行った場合の変化要素を設定します。
［BKT タイプ］ D5000 を除く	オートブラケティング時の撮影コマ数と補正範囲を設定します。
［BKT ステップ幅］	オートブラケティング時の補正ステップ幅を設定します。
［BKT 補正順序］ D50 D5000 を除く	オートブラケティングの補正順序を設定します。
［露出モード］	露出モードを選択します。

D3 シリーズ /D2 シリーズ /D700/ D300 シリーズ /D200（画面は D3S です）

D90/D80/D70 シリーズ /D50/ D7000（画面は D7000 です）

D5000

インターバル撮影

3 ［撮影回数］に連続撮影する回数を 2 〜 9999 の範囲で入力します。
［キャンセルするまで撮影する］チェックボックスがオン ☑ のときは入力できません。

4 ［タイマー］に撮影間隔を 1 秒から 99 時間 59 分 59 秒の範囲で入力します。

5 インターバル撮影を開始します。
［開始］ボタンをクリックすると、インターバル撮影が始まります。
- ダウンロードされた画像に対しては、［ダウンロードオプション］ダイアログの ［カメラから新しい画像を受け取った時］ で設定された動作が行われます。

6 インターバル撮影処理進行ダイアログが表示されます。
インターバル撮影を中止するときは、［撮影を終了］ボタンをクリックします。

撮影間隔の設定について

実際のインターバル撮影には、タイマー時間、シャッター速度の時間、データ転送時間、Camera Control Pro が処理を行う時間などが含まれます。そのため、設定した撮影間隔や画質モードと画像サイズによっては、設定した間隔で撮影できない場合があります。

重要

［インターバル撮影］ウィンドウを閉じるまで、［Camera Control Pro］ウィンドウは操作できません。

インターバル撮影

7 インターバル撮影が終了すると、［撮影を終了］ボタンが［撮影を完了］ボタンに変わります。［撮影を完了］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

インターバル撮影中のカメラ操作について

インターバル撮影中には、カメラの操作を行うことはできません。

警告ボタン

撮影時または処理中にエラーが発生した場合、［撮影を終了］（または［撮影を完了］）ボタンの隣に警告ボタン が表示されます。警告ボタン をクリックすると、警告メッセージが表示されます。指示に従い、［撮影を終了］（または［撮影を完了］）ボタンをクリックして、撮影を終了します。［エラーログ］ダイアログが開いて、発生したエラーのログが表示されます。［エラーログ］ダイアログの［OK］ボタンをクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウに戻ります。

ハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は

撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、インターバル撮影処理進行ダイアログのディスク空き容量表示アイコンが、緑から黄色、赤に変わります。インターバル撮影を停止して、保存先を変更してください。

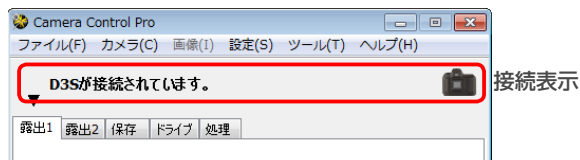
インターバル撮影
インターバル撮影モード時は、カメラの設定を変更できません。
ダウンロードフォルダ：F:¥Users¥user¥Pictures
26.2 GB の空きディスク容量があります
最後に保存した画像：Img0009D3S.jpg
保存した画像：1
撮影間隔：00:00:07

Camera Control Pro の各機能

［Camera Control Pro］ウィンドウの各パネルには、現在カメラに設定されている値が表示されます。タブをクリックしてパネルを表示させ、設定内容を参照したり、変更することができます。各パネルの項目の内容は、この後の「Camera Control Pro パネルの設定」を参照してください。

接続表示

カメラの接続状況を表示します。

接続表示

［カメラ名］ 現在接続しているカメラ名を表示します。

［カメラの向き］アイコン（D100 を除く）

現在接続しているカメラの向きを表します。［水平］、［時計回りに 90° 回転］、［反時計回りに 90° 回転］の 3 種類のアイコンが表示されます。

カメラのセットアップメニューの［縦横位置情報の記録］（D70 シリーズ、D50 では［姿勢情報記録］）が記録する設定（ON）の場合のみ有効です。記録しない設定（OFF）の場合は、［カメラの向き］アイコンは表示されません。

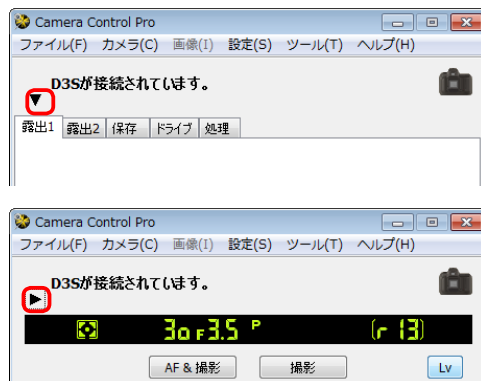
水平

時計回りに 90° 回転

反時計回りに 90° 回転

Camera Control Pro の各機能

表示切り換えボタン ▼ / ▶

表示切り換えボタン ▼ / ▶ をクリックすると、パネル選択用タブと Camera Control Pro パネルの表示 / 非表示を切り換えることができます。

LCD 領域

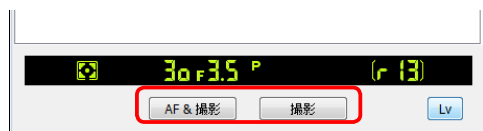
ウィンドウの下部にある LCD 領域には、カメラの「ファインダー内表示」と同様の情報が表示されます。ただし、カメラのエラー情報が表示されないなどの若干の違いがあります。

変更可能な項目を LCD 領域でクリックすると、［Camera Control Pro］ウィンドウの該当するパネルが自動的に表示されます。

D100 以外の場合、LCD 領域の右端にカメラのバッファの連続撮影可能コマ数が表示されます。Camera Control Pro は、定期的にカメラから連続撮影可能コマ数を取得して表示するため、カメラ本体に表示される実際の連続撮影可能コマ数との間に一時的にずれが生じる場合があります。

Camera Control Pro の各機能

撮影ボタン

現在のカメラ設定で、または設定内容を変更したあとで、以下のうちいずれかのボタンをクリックすると撮影できます。

[AF & 撮影]	自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。
[撮影]	クリックと同時に撮影します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

また、D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D90、D7000 で［レリーズモード（動作モード）］を［低速連続撮影］または［高速連続撮影］、D60、D5000 で［レリーズモード］を［連続撮影］、D80、D70 シリーズ、D50、D40 シリーズで［撮影動作モード］を［連続撮影］に設定すると、［AF & 撮影］ボタンが［AF& 開始］ボタンに、［撮影］ボタンが［開始］ボタンに変わって、パソコンからの連続撮影が可能になります。連続撮影するコマ数は、[撮影コマ数]で設定できます。

[AF & 開始]	自動的に一度ピントを合わせてから連写を開始します。
[開始]	クリックと同時に連写を開始します。なお、フォーカスモードが「シングル AF サーボ」または「オートエリア AF」をサポートするカメラで「オートエリア AF」を選択している場合は、自動的に一度ピントを合わせてから撮影します。

D100 のファンクションダイヤルについて

ファンクションダイヤルが［WB］、［ISO］、［QUAL］または［+］に設定されている場合は、［LCD 領域］には何も表示されません。また、撮影ボタンを使って画像の撮影を行うことはできません。ファンクションダイヤルを［P］、［S］、［A］、［M］のいずれかの露出モードに設定してください。

補足 D100

連続撮影はカメラ本体のシャッターボタン操作でのみ可能です。［Camera Control Pro］ウィンドウの撮影ボタンでは、常に 1 枚ずつの撮影になります。

Camera Control Pro の各機能

重要

カメラコントロール機能では、次のカメラ制御はできません。カメラ本体を直接操作してください。

	機能	カメラ機種
表示も制御もできない機能	連写	D100
	コンティニュアスフォーカス機能	対応するすべての機種
	フォーカスロック	対応するすべての機種
	AF のみの動作 （[AF & 撮影] ボタンによる撮影時の AF を除く）	対応するすべての機種
	絞りリングによる絞り制御 （カスタムセッティングに依存）	D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200
	被写界深度のプレビュー	対応するすべての機種
	ブラケティング制御	D100
	RAW 画像の圧縮	D100
	ファンクションボタンの機能	D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200 D90 D80 D7000 D5000
	セルフタイマー撮影の設定	D100 を除く
	リモコン撮影の設定	D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ D7000 D5000
	多重露出	対応するすべての機種
制御できないが表示のみ可能な機能	セレクトダイヤルによるフォーカスモード切り換え	対応するすべての機種
	測光モード切り換え	D100
	露出モード切り換え **	D100 D90 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ D7000 D5000
	撮影動作モード切り換え	D100
	シャッタースピードのロック *	D3 シリーズ D2 シリーズ D700
	絞りのロック *	D3 シリーズ D2 シリーズ D700
	AE ロック *	対応するすべての機種
	別売スピードライトの調光補正量	D3 シリーズ D2 シリーズ
	ミラーアップの設定	D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200
	グループダイナミック AF の分割パターン 2 の中心位置パターン	D2 シリーズ D200

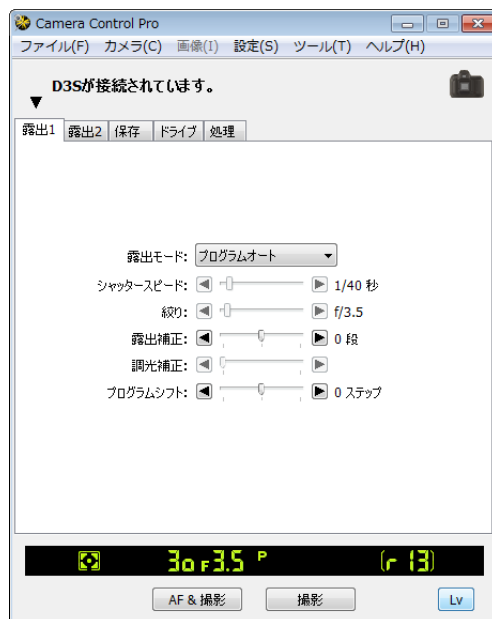
* これらのロックの状態は、LCD 表示エリアにて確認することができます。

** D100 以外の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされていないときは、「露出モードの切り換え」が制御可能となります。

Camera Control Pro パネルの設定

以下に、各パネルで設定できる項目について説明します。

[露出 1] パネル

[露出 1] パネルでは、次の項目を設定できます。

[露出モード]	露出モードを選択することができます（非 CPU レンズを装着した場合の露出モードについては、「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください）。 D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5000 で［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされている場合および D100 では、カメラ側で設定されている露出モードが表示されますが、Camera Control Pro で変更することはできません。露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[シーンモード] D7000 D5000	［露出モード］で［シーンモード］を選択している場合、シーンに合わせて撮影モードを変更できます。シーンモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[露出モード] で [U1] または [U2] を選択している場合 D7000

D7000 では、よく使う設定やシーンモードをモードダイヤルの［U1］または［U2］に登録できます。［露出モード］で［U1］または［U2］を選択している場合、［シーンモード］の欄に［U1］または［U2］に設定されているシーンモードが表示されます。Camera Control Pro で変更することはできません。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 1] パネル	
[シャッタースピード]	[露出モード] で [マニュアル] または [シャッター優先オート] を選択している場合のみ変更できます。各カメラに設定可能なシャッタースピードの範囲でシャッタースピードを変更できます。シャッタースピードを高速に設定すると、動いている被写体を止まっているように撮影できます。逆に、スピード感を出したいときは、シャッタースピードを低速に設定します。
[絞り]	[露出モード] で [マニュアル] または [絞り優先オート] を選択している場合、開放絞り値から最小絞り値の範囲で絞り値を変更できます。絞り値が大きいほど、絞りは小さくなります。非 CPU レンズを装着したカメラを接続した場合については「非 CPU レンズを装着した場合」をご覧ください。
[露出補正]	露出補正とは、カメラが適切と判断した露出値を意図的に変更することです。たとえば、被写体にコントラストの強いものがあるために露出をずらして撮影する場合などに使用します。カメラの露出モードによっては変更できません。露出値を変更できる露出モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[調光補正] D3 シリーズ D2 シリーズ を除く	調光補正とは、フラッシュとカメラが行う適正な調光を意図的に変えることをいいます。たとえば、発光量を多くして主要被写体を一段と明るく照らしたいとき、あるいは発光量を少なくして、主要被写体に光が強く当たりすぎないようにしたいときなどに使用します。
[プログラムシフト]	露出モードが [プログラムオート] のとき、シャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できます。

D100 のファンクションダイヤルについて

ファンクションダイヤルが [WB]、[ISO]、[QUAL] または [+] に設定されている場合は、[露出 1] パネルの操作はできません。ファンクションダイヤルを [P]、[S]、[A]、[M] のいずれかの露出モードに設定してください。

Bulb を使用するときは

露出モードを [マニュアル] にすると、シャッターボタンを押している間だけシャッターが開いたままとなる長時間露出 (Bulb またはバルブ) 撮影の設定ができます。ただし、この場合、カメラ本体での Bulb 操作は可能ですが、Camera Control Pro からの操作はできません ([撮影] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されます)。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル

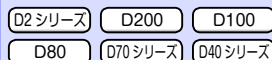
[露出 2] パネルでは、次の項目を表示および設定できます。

[フォーカスポイント] [フォーカスエリア]	オートフォーカスで撮影するとき、被写体の位置や構図に合わせて、使用するフォーカスポイント（エリア）を上下左右のボタンで選択します。フォーカスポイント（エリア）については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。AF エリアモードとフォーカスモードについては、[ドライブ] パネルをご覧ください。
[測光モード]	カメラに設定されている測光モードが表示されます。 D100 の場合、Camera Control Pro からは変更できません。 D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているときは、Camera Control Pro 上で変更することはできません。チェックされていないときは、Camera Control Pro 上で変更することもできます。 D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5000 の場合、[カメラ本体のコントロールを有効にする] がチェックされているいないにかかわらず、Camera Control Pro 上で変更することができます。測光モードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[フラッシュモード]	フラッシュ撮影の場合に、撮影の目的や意図に合わせて、フラッシュモードを選択します。フラッシュモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[ISO 感度]	撮像感度を標準よりも高く設定することができ、暗いところでの撮影にも対応しています。撮像感度は、プルダウンメニューで設定します。設定可能な撮像感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[オート] D2 シリーズ D100 D200 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ	[オート] チェックボックスをオン にすると、感度自動制御が設定されます。
[感度自動制御] D3 シリーズ D700 D300 シリーズ D90 D7000 D5000	[感度自動制御] チェックボックスをオン にすると、感度自動制御が設定されます。
[詳細] ボタン D3 シリーズ D700 D300 シリーズ D90 D7000 D5000	感度自動制御が設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、[感度自動制御] ダイアログが表示されます。 [感度自動制御] ダイアログでは、[制御上限感度] と [低速限界設定] を設定することができます。

Camera Control Pro パネルの設定

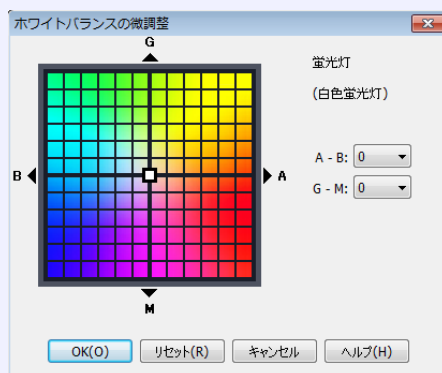
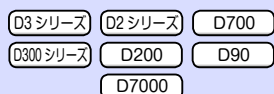
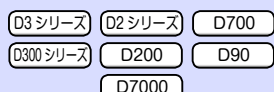
［露出 2］パネル	
［ホワイトバランス］	さまざまな照明光の環境下でも白い被写体ができるだけ「白」に見えるように、照明光の色に合わせてホワイトバランスを調整できます。ホワイトバランスについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［微調整］ D2 シリーズ　D200　D100 D80　D70 シリーズ　D40 シリーズ	各ホワイトバランスに対する微調整が可能です。－3 から＋3 の範囲で調整値を設定します。［露出 2］パネルの［微調整 ...］ボタンをクリックすると、［ホワイトバランス微調整］ダイアログが表示されます。 ［露出 2］パネルの［ホワイトバランス］で「オート」を選択している場合は、［オート］スライダーで設定した値でさらに自動調整します。 ［リセット］ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。［OK］ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。 ホワイトバランス微調整 オート - + 0 電球 - + 0 蛍光灯 - + 0 晴天 - + 0 フラッシュ - + 0 曇天 - + 0 晴天日陰 - + 0 OK(O)　リセット(R)　キャンセル　ヘルプ(H)

微調整を行うことのできないホワイトバランスについて

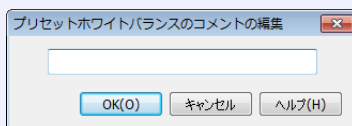
［ホワイトバランス調整］を［プリセット］または［色温度設定］（D2 シリーズ、D200、D80）に設定している場合には、［微調整］ボタンは使用できません。

補足

画像に特殊な効果を持たせたいときには、意図的にホワイトバランスを変えるという使い方もできます。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[微調整] D3 シリーズ D700 D300 シリーズ D90 D60 D7000 D5000	[ホワイトバランス] で選択した（選択されているホワイトバランス名はダイアログの右上に表示されます）それぞれのホワイトバランスに対する微調整が可能です。 A（アンバー）、B（ブルー）、G（グリーン）、M（マゼンタ）の４方向で、各方向６段まで微調整できます。設定した各方向の色に画像を補整します。A､B 方向（横軸）は色温度の高さを､G､M 方向（縦軸）は色補正用（CC）フィルターと同じような微調整ができます。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。 [リセット] ボタンをクリックすると、デフォルト（初期値）に戻ります。[OK] ボタンをクリックすると、調整値がカメラに反映されます。
[蛍光灯] D3 シリーズ D700 D300 シリーズ D90 D60 D7000 D5000	[ホワイトバランス] で [蛍光灯] を選択したときにのみ表示されます。 蛍光灯の種別を選択できます。
[色温度] D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200 D90 D7000	[ホワイトバランス] で [自然光（色温度選択)] を選択したときにのみ表示されます。 色温度を選択できます。
[コメント] D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200 D90 D7000	ホワイトバランスの各プリセットデータに対するコメントを表示します。

Camera Control Pro パネルの設定

[露出 2] パネル	
[オートの種類] D7000	[ホワイトバランス] で [オート] を選択したときにのみ表示されます。オートの種別を選択できます。
[編集] ボタン D3 シリーズ　D2 シリーズ　D700　D300 シリーズ　D200　D90　D7000	ホワイトバランスがプリセットに設定されている場合にのみ有効です。クリックすると、次の［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログが表示されます。 ［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログでは、ホワイトバランスの各プリセットデータのコメントを編集することができます。ここでは、36 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「ホワイトバランスプリセットの［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。

［プリセットホワイトバランスのコメントの編集］ダイアログに入力可能な記号について

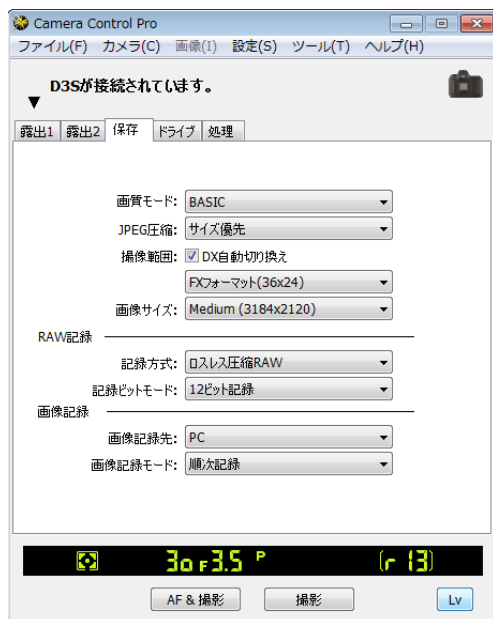
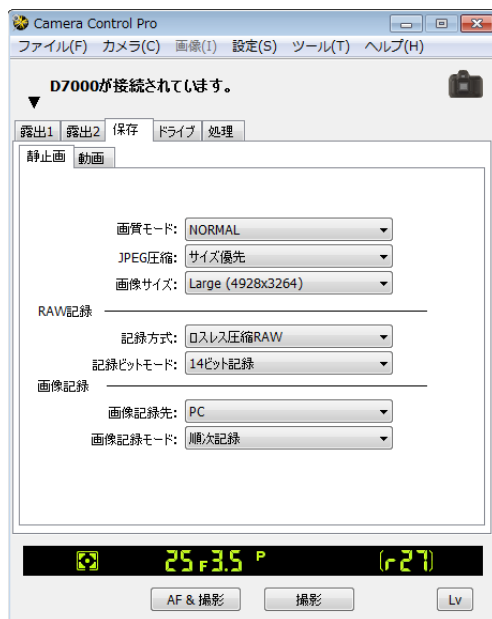
D3 シリーズ　D2 シリーズ　D700　D300 シリーズ　D200　D90　D7000

［コメント編集］ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「（スペース）」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

Camera Control Pro パネルの設定

[保存] パネル

[保存] パネルでは、画質モードに関する項目を表示および設定できます。D7000 の場合、[静止画] タブと [動画] タブに分かれています。[静止画] タブの内容は、D7000 以外のカメラの [保存] パネルと同様です。

D7000 以外

D7000

[画質モード]	接続しているカメラがサポートしているファイル形式と、JPEG 画像の圧縮方式を選択できます。ファイル形式は、ビット数やファイルサイズを決定する基準になります。ファイル形式については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[JPEG 圧縮] D3 シリーズ D2X D2XS D2HS D700 D300 シリーズ D200 D7000	JPEG 画像の圧縮時にファイルサイズと画質のどちらを優先するかを、[サイズ優先] と [画質優先] から選択できます。
[撮像範囲] D3 シリーズ D700	[DX 自動切り換え] チェックボックスをオン ☑ にすると、DX レンズを装着した場合、自動的に DX フォーマットに切り換えます。オフの場合は、メニューで選択されている撮像範囲に設定されます。
[画像サイズ]	画像を記録する際のサイズ（大きさ）を選択します。画像サイズについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

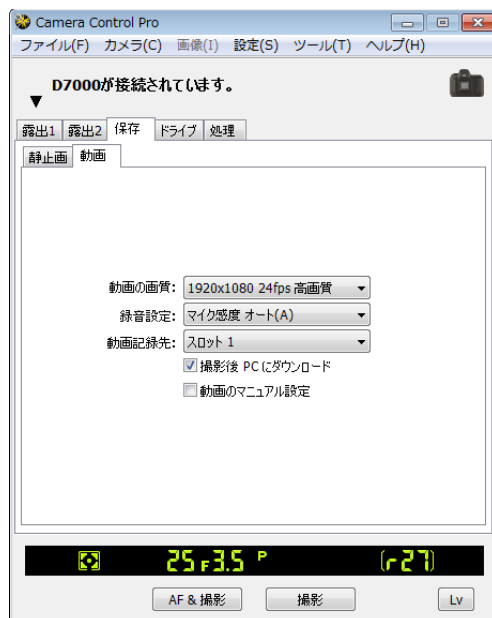
Camera Control Pro パネルの設定

［保存］パネル	
［RAW 圧縮］ D2 シリーズ D200	撮影する RAW 画像の圧縮を行うかどうか設定できます。チェックボックスをオン ☑ にすると、RAW 画像の圧縮を行います。
［クロップ高速］ D2X D2XS	［クロップ高速］チェックボックスをオン ☑ にすると、ファインダー内のクロップ高速参照エリア内のみを画像として記録します。このため、通常よりも高速に、より多くのコマ数を連続撮影できます。
［RAW 記録］ D3 シリーズ D700 D300 シリーズ D7000	RAW データの［記録方式］と［記録ビットモード］を選択できます。
［画像記録］ D3S D7000	画像を記録する際の［画像記録先］と［画像記録モード］を設定します。
［画像記録先］ D3S D7000	撮影した画像の記録先として、[PC]、[PC+ カード] または [カード] のいずれかを選択できます。
［画像記録モード］ D3S D7000	[画像記録先] で [PC+ カード] または [カード] を選択した場合、画像をカードに記録する保存モードを設定できます。 順次記録 : スロット 1 のメモリーカード、スロット 2 のメモリーカードの順に、画像を記録します。 バックアップ記録 :2 つのスロットのメモリーカードに、同じ画像を記録します。 RAW+JPEG 分割記録 : スロット 1 のメモリーカードに RAW 画像、スロット 2 のメモリーカードに JPEG 画像を記録します。

［PC+ カード］または［カード］を選択した場合のご注意 D3S D7000

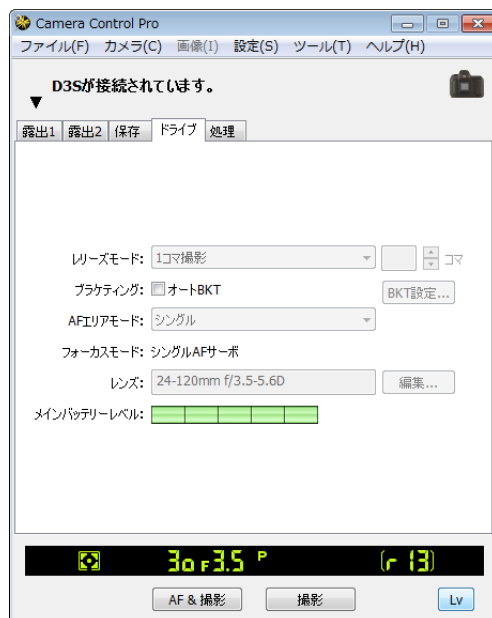
- メモリーカードの空き容量が不足している、メモリーカードの初期化中、またはスロット内にメモリーカードがない場合、撮影することができません。メモリーカードを交換または挿入するか、［PC］を選択してください。
- 撮影時にハードディスクの空き容量が足りなくなった場合は、警告メッセージが表示されます。メッセージにしたがって、保存先を変更してください。
- メモリーカードに記録する画像には、IPTC ファイル情報、ICC プロファイルは付加されません。

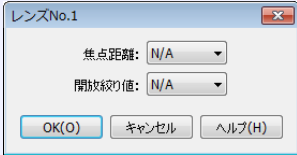
Camera Control Pro パネルの設定

[動画] タブ（D7000）

[画像サイズ]	撮影する動画ファイルのサイズを選択できます。
[録音設定]	マイクの感度を設定できます。[録音しない] を選択すると、音声を録音しません。
[動画記録先]	撮影する動画ファイルの記録先を [スロット 1] または [スロット 2] から選択できます。設定したスロットにメモリーカードが挿入されていない場合、動画撮影開始時にエラーメッセージが表示され、撮影は行われません。
[撮影後 PC にダウンロード]	[撮影後 PC にダウンロード] チェックボックスをオン ☑ にすると、撮影後に動画ファイルをパソコンにダウンロードします。オフ ☐ にしている場合、動画ファイルはメモリーカードにのみ保存されます。
[動画のマニュアル設定]	[動画のマニュアル設定] チェックボックスをオン ☑ にすると、[露出モード] を [マニュアル] に設定している場合に、動画撮影中でも [シャッタースピード] と [ISO 感度] の設定ができるようになります。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル

［ドライブ］パネルでは、カメラの操作に関する項目を表示および設定できます。

［レリーズモード］［動作モード］	D100：カメラ側で設定されているモードが表示されますが、パソコン上で変更することはできません。 D3 D3X D2 シリーズ D700 D300 D200：［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされているときは、カメラで設定したレリーズ（動作）モードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定したレリーズ（動作）モードにかかわらず、［1 コマ撮影］、［低速連続撮影］、［高速連続撮影］から選択することができます。 D3S D300S D7000：［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされているときは、カメラで設定したレリーズ（動作）モードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックされていないときは、カメラで設定したレリーズ（動作）モードにかかわらず、［1 コマ撮影］、［低速連続撮影］、［高速連続撮影］、［静音撮影］から選択することができます。 D90：［1 コマ撮影］、［低速連続撮影］、［高速連続撮影］から選択することができます。カメラ本体のレリーズモードを［セルフタイマー撮影］、［2 秒リモコン撮影］、［瞬時リモコン撮影］に設定した場合、［1 コマ撮影］になります。 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ D5000：［1 コマ撮影］、［連続撮影］から選択することができます。カメラ本体の［撮影動作モード］を［セルフタイマー撮影］、［2 秒リモコン撮影］、［瞬時リモコン撮影］に設定した場合、［1 コマ撮影］になります。

Camera Control Pro パネルの設定

[ドライブ] パネル	
[撮影コマ数] D100 を除く	△または▽をクリックするか、テキストボックスに直接入力して、連続撮影可能コマ数を設定します。レリーズ（動作）モードが［低速連続撮影］または［高速連続撮影］（ともに D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D90、D7000）、［連続撮影］（D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D5000）に設定されている場合にのみ、有効になります。入力できるコマ数は、撮影時の画質モードによって異なります。カメラ側の設定により連写可能なコマ数は異なります。LCD 領域右端に表示されたカメラの連続撮影可能コマ数を確認し、それより小さな値を入力して下さい。連続撮影可能コマ数より大きな値を入力した場合には、入力した値が赤く表示されます。
[ブラケティング] D100 D60 D40 シリーズ を除く	［オート BKT］チェックボックスをオン ☑ にすると、オートブラケティングが実行されます。［BKT 設定］ボタンをクリックすると、［BKT モード］ダイアログでブラケティングを設定できます。 詳しくはインターバル撮影の手順 2 をご覧ください。
[AF エリアモード]	フォーカスエリアを設定します。D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200 の場合、［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされているときは、カメラで設定した AF エリアモードが表示され、パソコン上で変更することはできません。チェックボックスがチェックされていないときは、カメラで設定した AF エリアモードがデフォルト（初期値）として表示されますが、パソコン上で変更することができます。AF エリアモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[フォーカスモード]	カメラに設定されているフォーカスモードが表示されます。D90、D80、D60、D40 シリーズ、D7000、D5000 の場合、パソコン上でフォーカスモードを変更できますが、その他のカメラでは Camera Control Pro からは変更できません。フォーカスモードは、カメラ上で設定してください。フォーカスモードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[AF & 撮影] / [撮影] ボタン

レリーズ（動作）モードが［低速連続撮影］または［高速連続撮影］（ともに D3 シリーズ、D2 シリーズ、 D700、D300 シリーズ、D200、D90、D7000）、［連続撮影］（D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D5000）の場合、Camera Control Pro の［AF & 撮影］ボタンが［AF & 開始］ボタンに、［撮影］ボタンが［開始］ボタンに変わります。

Camera Control Pro パネルの設定

［ドライブ］パネル	
［レンズ］	現在カメラに装着されているレンズの焦点距離と開放 F 値などのレンズ情報が表示されます。ただし、装着しているレンズによっては表示されない情報があります。また、D2 シリーズ、D200 で［レンズ定義］ダイアログで手動設定した場合、その値が、「*」マーク付きで表示されます。D3 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D7000 で CPU レンズ装着時以外は、手動で登録したレンズ情報が表示され、選択できます。
［編集］ボタン D3 シリーズ　D2 シリーズ　D700 D300 シリーズ　D200　D7000	このボタンは、非 CPU レンズがカメラに装着されている場合にのみ有効です。クリックすると、［レンズ定義］ダイアログが表示されます。 ［レンズ定義］ダイアログでは、レンズの焦点距離と開放 F 値を設定することができます。［OK］ボタンをクリックすると、設定した焦点距離と開放 F 値が、カメラに送信されます。 レンズNo.1 焦点距離: N/A 開放絞り値: N/A OK(O)　キャンセル　ヘルプ(H)
［メインバッテリーレベル］	カメラのメインバッテリーの残量レベルを表示します。緑色の表示は充分に残量があることを示します。黄色の表示はバッテリーの残量が少なく、充電された予備のバッテリーを準備する必要があることを示します。赤色の表示はバッテリーが消耗していて、交換しなければ撮影できないことを示します。この場合、Camera Control Pro はカメラを制御できなくなることがあります。充電されたリチャージャブルバッテリーまたは AC アダプターをご使用ください。

セルフタイマー撮影について

Camera Control Pro の撮影ボタンを使って、セルフタイマー撮影を行うことはできません。カメラでセルフタイマーにセットしても、レリーズ（動作）モードは［1 コマ撮影］と表示され、［撮影］ボタンを押しても 1 コマ撮影となります。セルフタイマー撮影を行う際は、カメラのシャッターボタンを使用してください。

Camera Control Pro パネルの設定

連続撮影可能コマ数について（D100 を除く）

連続撮影を行っている間、撮影した画像をカメラからパソコンに随時転送します。そのため、転送待ちの画像がある場合には、実際に撮影できるコマ数は、LCD 領域に表示される連続撮影可能コマ数よりも少なくなる場合があります。

非 CPU レンズを装着した場合

カメラに非 CPU レンズを装着した場合、Camera Control Pro の動作は CPU レンズ装着時とは異なり、また、行うことのできる操作は制限されます。非 CPU レンズ装着時の動作は次のようになります。Camera Control Pro では使用できない操作も、カメラ本体で使用することができます。カメラの操作方法に関してはカメラの使用説明書をご覧ください。

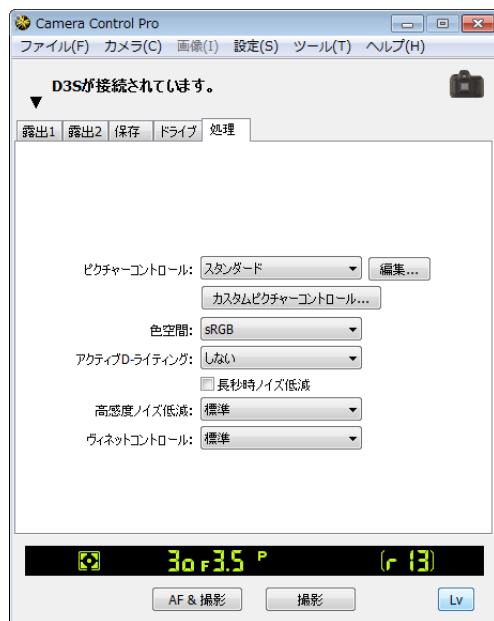
	D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200	D7000	D90 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ D5000	D100
露出モード *	［絞り優先オート］または［マニュアル］のみ選択可能	［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされている場合： 変更不可でカメラ側の設定を表示する ［カメラ本体のコントロールを有効にする］がチェックされていない場合： 全モードを選択可能。ただし［マニュアル］以外では撮影できない		変更不可でカメラ側の設定を表示する
シャッタースピード	露出モードが［マニュアル］の場合のみ変更可能			
絞り	レンズ定義した場合：設定した値に「*」マークを付けて表示する レンズ定義していない場合：変更不可で「f/--」と表示する		変更不可で「f/--」と表示する	
AF& 撮影ボタン	使用不可			
撮影ボタン	使用可能		使用可能 **	

* D100、D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D5000 は非 CPU レンズ使用時、［マニュアル］以外では撮影できません。D7000 は非 CPU レンズ使用時、［絞り優先オート］または［マニュアル］以外では撮影できません。

** 露出モードが［マニュアル］以外の場合、「露出モードを［マニュアル］に設定してください」というメッセージが表示されます。

[処理] パネル（ピクチャーコントロール搭載のカメラ）

[処理] パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。

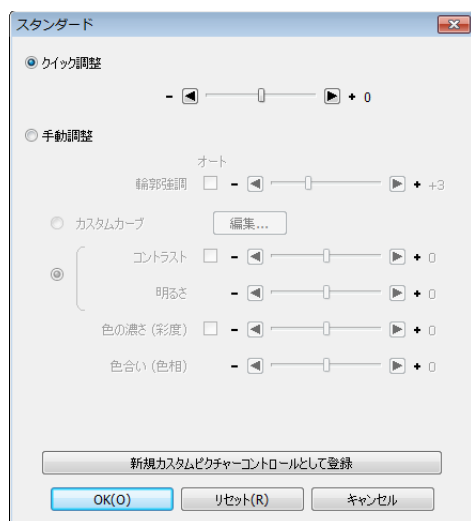
※ピクチャーコントロール非搭載カメラの処理パネルは[処理パネル]（ピクチャーコントロール非搭載のカメラ）をご覧ください。

[ピクチャーコントロール]	ピクチャーコントロールの種類を選択します。ピクチャーコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[編集] ボタン	クリックすると、選択したピクチャーコントロールの調整ダイアログが表示されます。詳しくは、調整ダイアログをご覧ください。
[カスタムピクチャーコントロール] ボタン	クリックすると、カスタムピクチャーコントロールの設定を行うダイアログが表示されます。詳しくは、[カスタムピクチャーコントロール] ダイアログをご覧ください。
[色空間]	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
アクティブ D- ライティング	アクティブ D- ライティングを設定します。アクティブ D- ライティングについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

［処理］パネル	
［長秒時ノイズ低減］	シャッタースピードが低速になると、画像にノイズが入る場合があります。［長秒時ノイズ低減］チェックボックスをオン ☑ にすると、このノイズを低減させることができます。シャッタースピードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［高感度ノイズ低減］	撮像感度が高感度になると、画像にざらつき（ノイズ）が入る場合があります。選択できるメニューと［高感度ノイズ低減］が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［ヴィネットコントロール］ D3（ファームウェア Ver.1.10 以上） D3X D3S D700	ヴィネットコントロールの強さを設定します。ヴィネットコントロールについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
［自動ゆがみ補正］ D7000 D5000	自動ゆがみ補正を有効にします。自動ゆがみ補正については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

Camera Control Pro パネルの設定

調整ダイアログ

［編集］ボタンをクリックすると、［ピクチャーコントロール］メニューで選択したピクチャーコントロールの調整ダイアログが表示されます。

モノクローム以外

モノクローム

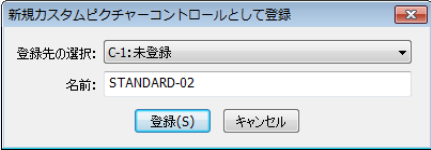
［クイック調整］ （モノクローム以外）	［クイック調整］スライダーでは、［輪郭強調］、［コントラスト］、［色の濃さ（彩度）］が一度に調整できます。 ［クイック調整］を選択した場合、［手動調整］は選択できません。 ［ピクチャーコントロール］メニューで［ニュートラル］を選択した場合、［クイック調整］は選択できません。
［手動調整］ （モノクローム以外）	［輪郭強調］、［コントラスト］、［明るさ］、［色の濃さ（彩度）］、［色合い（色相）］の各スライダーで、それぞれ個別に調整できます。 ［手動調整］を選択した場合、［クイック調整］は選択できません。
［輪郭強調］	スライダーの移動で、輪郭の強弱を調整します。［オート］チェックボックスをオン ☑ にすると、自動的に輪郭を強調します。 ［手動調整］を選択した場合、調整可能となります。

Camera Control Pro パネルの設定

調整ダイアログ	
[カスタムカーブ]	[カスタムカーブ] を選択すると、[編集] ボタンが使用可能となります。クリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが表示され、階調補正テーブルを編集できます。 [コントラスト] と [明るさ] を選択した場合、[カスタムカーブ] は選択できません。
[コントラスト] [明るさ]	[コントラスト] と [明るさ] を選択すると、各スライダーで、それぞれを調整できます。コントラストの [オート] チェックボックスをオン ☑ にすると、自動的にコントラストを調整します。 [カスタムカーブ] を選択した場合、[コントラスト] と [明るさ] は選択できません。
[色の濃さ（彩度)] （モノクローム以外）	スライダーの移動で、画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。[オート] チェックボックスをオン ☑ にすると、自動的に色の濃さ（彩度）を調整します。
[色合い（色相)] （モノクローム以外）	スライダーの移動で、画像の色合いを調整します。
フィルター効果 （モノクロームのみ）	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果をメニューから選択します。
調色 （モノクロームのみ）	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調をメニューから選択します。また、選択した調色の濃淡をスライダーで調整できます。

[カスタムカーブ] について

ニコンピクチャーコントロールの調整で [カスタムカーブ] を選択した場合は、ニコンピクチャーコントロールとしては保存できません。保存する場合は、[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ボタンでカスタムピクチャーコントロールとして登録してください。

ニコンピクチャーコントロールについて

ニコンが提供するピクチャーコントロールを総称して「ニコンピクチャーコントロール」といいます。「ニコンピクチャーコントロール」には、カメラにあらかじめ搭載されている「ピクチャーコントロール」とニコンのホームページからダウンロードできる「オプションピクチャーコントロール」があります。ピクチャーコントロールについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

[コントラスト] [明るさ] について（D7000 を除く）

[処理] パネルのアクティブ D- ライティングを [しない] 以外に設定した場合、[ピクチャーコントロール] の [コントラスト] と [明るさ] レベル調整は選択できません。

Camera Control Pro パネルの設定

調整ダイアログ	
[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ボタン	クリックすると、[新規カスタムピクチャーコントロールとして登録] ダイアログが表示されます。[登録先] を選択し、[名前] を入力して [登録] ボタンをクリックして、調整したピクチャーコントロールを登録します。 新規カスタムピクチャーコントロールとして登録 登録先の選択: C-1:未登録 名前: STANDARD-02 登録(S) キャンセル
[OK] ボタン	調整したピクチャーコントロールが保存され、ダイアログを閉じます。
[リセット] ボタン	調整したピクチャーコントロールは、初期状態にリセットされます。カスタムピクチャーコントロールの場合は、最初に保存した状態にリセットされます。
[キャンセル] ボタン	調整したピクチャーコントロールは保存されずに、ダイアログを閉じます。

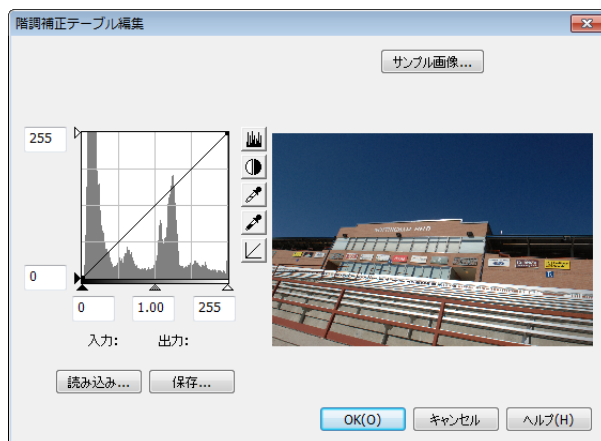
Camera Control Pro パネルの設定

［カスタムピクチャーコントロール］ダイアログ

［カスタムピクチャーコントロール］ボタンをクリックすると、［カスタムピクチャーコントロール］ダイアログが表示されます。

［カスタムピクチャーコントロール］	登録名変更または削除するカスタムピクチャーコントロールを選択します。
［登録名変更］ボタン	クリックすると、［登録名変更］ダイアログが表示されます。変更する登録名を入力して、［OK］ボタンをクリックしてください。
［削除］ボタン	選択されているカスタムピクチャーコントロールを削除します。 登録されているカスタムピクチャーコントロールがない場合、このボタンは使用できません。
［閉じる］ボタン	［カスタムピクチャーコントロール］ダイアログを閉じます。

[階調補正テーブル編集] ダイアログ

[カスタムカーブ] の [編集] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが開きます。

このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドー、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。独自の階調を作成して、カメラに適用することができます。

編集できるのはマスターカーブ（「RGB」チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは 20 個までです。グレー点の追加はできません。

[読み込み] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログで保存したトーンカーブファイル(.ntc)を選択して画像に適用することができます。次の設定ファイルが読み込み可能です。

- [保存] ボタンで保存したトーンカーブファイル（.ntc）
- 別売の Nikon Capture で保存した [トーンカーブ] ファイル（.ncv）
- 別売の Capture NX 2 または Capture NX で保存した[レベルとトーンカーブ]のデータを含んだ設定ファイル（.set）

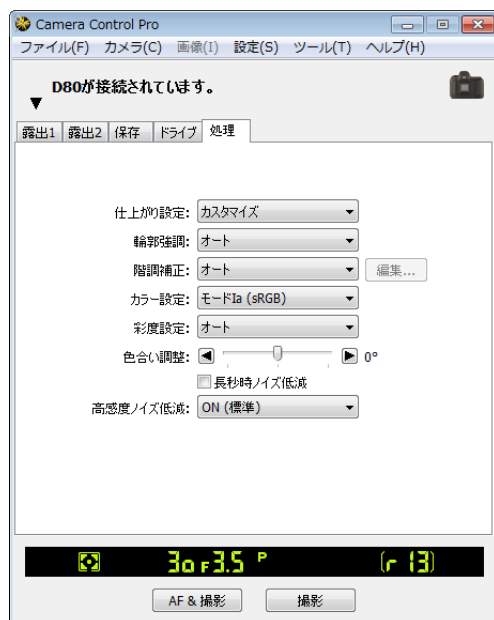
[保存] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル（.ntc）の形式で保存することができます。

[サンプル画像] ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、カメラで作成された RAW 画像のみです。

[OK] ボタンをクリックすると、編集したカーブが現在編集中のピクチャーコントロールに反映されます。

Camera Control Pro パネルの設定

[処理] パネル（ピクチャーコントロール非搭載のカメラ）

[処理] パネルでは、画像に対する処理に関する項目を表示および設定できます。

[仕上がり設定] D200　D80　D70 シリーズ D60　D50　D40 シリーズ	撮影する画像の仕上がりを設定します。D80 の場合、[白黒（カスタマイズ）] を選ぶと、[カスタマイズ] の設定とは別に、白黒写真用に [輪郭強調]、[階調補正]、[フィルター効果] を設定できます。仕上がり設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[輪郭強調]	撮影状況や好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。輪郭を強調する度合いを選択し、意図的に調整できます。輪郭強調については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[階調補正]	階調補正を設定して、画像のコントラストや明るさを調整します。[ユーザーカスタム]（D2XS の場合は [ユーザーカスタム 1 ～ 3]）を選択して、[編集] ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集] ダイアログが表示されます。階調補正に関しては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

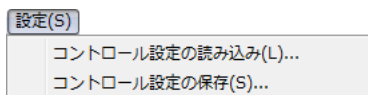
Camera Control Pro パネルの設定

[処理] パネル	
[フィルター効果] D80	撮影した画像に白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果を設定します。フィルター効果は、[仕上がり設定] で [白黒(カスタマイズ)]を選んだ場合にのみ設定できます。フィルター効果については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[色空間] D2X D2XS D200	撮影する画像の色空間を設定します。色空間については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[カラー設定] D2 シリーズ D200 D100 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ	撮影する画像のカラーモードを設定します。カラー設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[彩度設定] D200 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ	撮影する画像のあざやかさを設定します。彩度設定については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[色合い調整] D2 シリーズ D200 D100 D80 D70 シリーズ D60 D50 D40 シリーズ	撮影する画像に対して色合いの調整が可能です。D2 シリーズ、D200、D100、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズでは、－ 9°から＋ 9°(1 ステップ 3°)の 7 段階で 0°がデフォルト(初期値)です。肌色を基準とした場合、数値を高くすると黄色みが増し、数値を低くすると赤みが増します。
[長秒時ノイズ低減] D2 シリーズ D200 D100 D80 D70 シリーズ D50	シャッタースピードが低速になると、画像にノイズが入る場合があります。[長秒時ノイズ低減] チェックボックスをオン ☑ にすると、このノイズを低減させることができます。シャッタースピードについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[高感度ノイズ低減] D2X D2XS D2HS D200 D80	撮像感度が高感度になると、画像にざらつき(ノイズ)が入る場合があります。選択できるメニューと [高感度ノイズ低減] が有効になる感度については、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。
[ノイズ低減] D60 D40 シリーズ	シャッタースピードが低速になったり、高感度で撮影すると、画像にノイズが入る場合があります。[ノイズ低減] チェックボックスをオン ☑ にすると、シャッタースピードが低速になったり、高感度になったときのノイズを低減させることができます。
[アクティブ D- ライティング] D60	アクティブ D- ライティングを有効にします。

コントロール設定の保存と読み込み

［Camera Control Pro］ウィンドウの各パネルで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。

［設定］メニューから次のメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行います。

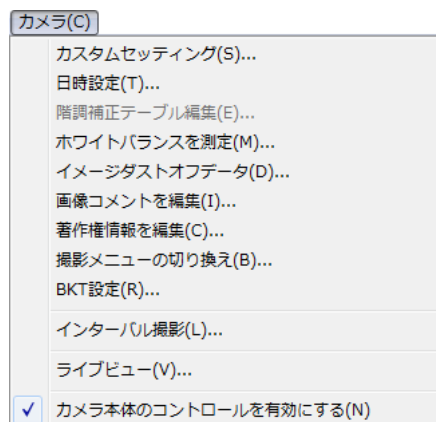
設定(S)
コントロール設定の読み込み(L)...
コントロール設定の保存(S)...

［コントロール設定の読み込み］	［コントロール設定の保存］で保存した設定を読み込みます。接続しているカメラで保存した設定を読み込んでください。 このメニュー項目を選択すると、［ファイルを開く］ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、コントロール設定ファイル（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）を選択します。現在の［Camera Control Pro］ウィンドウの設定が、選択したファイルの設定に変わります。
［コントロール設定の保存］	現在の［Camera Control Pro］ウィンドウの設定をファイルに保存します。保存した設定は、［コントロール設定の読み込み］で呼び出せます。 このメニュー項目を選択すると、［名前を付けて保存］ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します（ファイル名に「.ncc」という拡張子がつきます）。

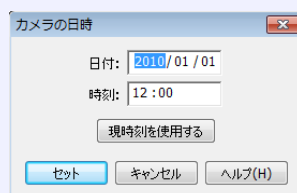
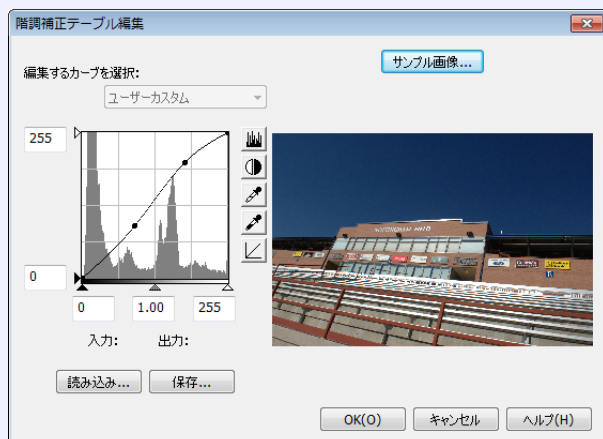
［コントロール設定の保存］で保存されない項目について

［コントロール設定の保存］で設定を保存しても、以下の項目は保存できません。

- ［ドライブ］パネルの［オート BKT］チェックボックスのオン / オフ
- ［ドライブ］パネルの［レンズ］の編集内容
- ［処理］パネルの［ピクチャーコントロール］の［調整］ダイアログの全項目
- ［BKT モード］ダイアログの全項目

［カメラ］メニューについて

Camera Control Proの[カメラ]メニューから次のメニュー項目を選択することによって、カメラの設定を変更したり、撮影した画像にさまざまな画像調整を行うことができます。

［カスタムセッティング］	［カスタムセッティング］を選択すると、撮影時のカメラの設定を変更できる［カスタムセッティング］ダイアログが開きます。詳細な内容については「カスタムセッティング」を参照してください。
［日時設定］	［日時設定］を選択すると、［カメラの日時］ダイアログが開きます。 ここでは、使用するカメラの日時設定を行うことができます。 ［現時刻を使用する］ボタンをクリックすると、パソコンに設定されている時刻がテキストボックスに表示されます。 ［セット］ボタンをクリックすると、ここで設定した内容がカメラに反映されます。 カメラの日時 日付: 2010/ 01 / 01 時刻: 12 :00 現時刻を使用する セット　キャンセル　ヘルプ(H)

［カメラ］メニューについて

［階調補正テーブル編集］ D3 シリーズ D700 D300 シリーズ D80 D7000 D5000 を除く	［階調補正テーブル編集］を選択すると、［階調補正テーブル編集］ダイアログが開きます。 このダイアログの機能はカメラの階調補正テーブルを作成するもので、サンプル画像で確認しながら、シャドー、ハイライト、中間調や、最小出力値、最大出力値などを編集することができます。初期設定のリニアの状態では、カメラの階調補正の標準（ノーマル）と同じ効果のカーブになります。独自の階調を作成して、カメラに適用することができます。 編集できるのはマスターカーブ（「RGB」チャンネルのカーブ）だけで、カーブ上に追加できるポイントは 20 個までです。グレー点の追加はできません。 ここで作成されたカーブは、カメラのノーマルカーブに付加された上でカメラに設定されます。そのため、ノーマルカーブで作成された画像を元に手直しする形でカーブを編集することをおすすめします。

［階調補正テーブル編集］次ページへ続く

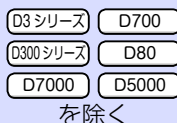
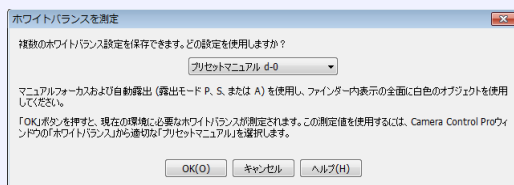
［編集するカーブの選択］メニューについて D2XS D2X D2HS D80

［編集するカーブを選択］のリストを切り換えることによって、以下のカーブを編集できます。

D2XS D2X※ D2HS※：［ユーザーカスタム 1 ～ 3］の 3 種類

※ カメラのファームウェア バージョンが 2.00 の場合のみ

D80：［ユーザーカスタム (カラー)］または［ユーザーカスタム (白黒)］の 2 種類

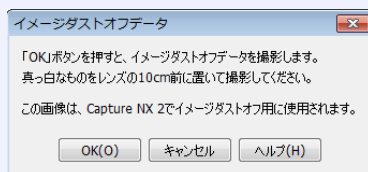
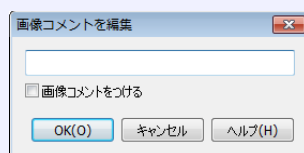
[カメラ]メニューについて

[階調補正テーブル編集] を除く	[読み込み]ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集]ダイアログで保存したトーンカーブファイル(.ntc)を選択して画像に適用することができます。次の設定ファイルが読み込み可能です。 • [保存]ボタンで保存したトーンカーブファイル(.ntc) • 別売の Nikon Capture で保存した[トーンカーブ]ファイル(.ncv) • 別売の Capture NX 2 または Capture NX で保存した[レベルとトーンカーブ]のデータを含んだ設定ファイル(.set) [保存]ボタンをクリックすると、[階調補正テーブル編集]ダイアログで編集したカーブをトーンカーブファイル(.ntc)の形式で保存することができます。D2XS の場合、現在表示されているカーブのみが保存されます。 [サンプル画像]ボタンをクリックすると、画像調整のサンプル画像を選択して表示します。ただし、サンプル画像として使用できるのは、カメラで作成された RAW 画像のみです。 [OK]ボタンをクリックすると、編集したカーブがカメラに記録されます。D2XS の場合、[OK]ボタンをクリックすると、[編集するカーブを選択]で切り換えて編集したすべてのカーブがカメラに記録されます。
[ホワイトバランスを測定]	[ホワイトバランスを測定]を選択すると、[ホワイトバランス測定]ダイアログが開きます。 ここでは、プリセットホワイトバランスをセットすることができます。ポップアップメニューよりデータの保存先を選択し(D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D90、D7000 のみ)、[OK]ボタンをクリックすると、プリセットホワイトバランスがセットされます(プリセットホワイトバランスの詳しい設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください)。 ホワイトバランスを測定 複数のホワイトバランス設定を保存できます。どの設定を使用しますか? プリセットマニュアル d-0 マニュアルフォーカスおよび自動露出(露出モード P、S、または A)を使用し、ファインダー内表示の全面に白色のオブジェクトを使用してください。 「OK」ボタンを押すと、現在の環境に必要なホワイトバランスが測定されます。この測定値を使用するには、Camera Control Proウィンドウの「ホワイトバランス」から適切な「プリセットマニュアル」を選択します。 OK(O)　キャンセル　ヘルプ(H)

D100 のファンクションダイヤルについて

D100 で[ホワイトバランスを測定]する場合は、ファンクションダイヤルを[P]、[S]、[A]、[M]のいずれかの露出モードに設定してください。

D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5000 の撮影モードダイヤルについて

[ホワイトバランスを測定]する場合は、撮影モードダイヤルを[P]、[S]、[A]、[M]のいずれかの露出モードに設定してください。

[カメラ] メニューについて

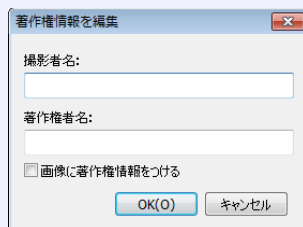
[イメージダストオフデータ] D100 を除く	[イメージダストオフデータ] を選択すると、[イメージダストオフデータ] ダイアログが開きます。ここでは別売の Capture NX 2 などの [イメージダストオフ] で使用できるイメージダストオフデータを取得できます。 [イメージダストオフデータ] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると、イメージダストオフデータを取得します。イメージダストオフデータの撮影方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。
[画像コメントを編集]	[画像コメントを編集] を選択すると、[画像コメントを編集] ダイアログでカメラで設定したコメントを表示および編集できます。 [画像コメントをつける] チェックボックスをオン にすると、ここで表示されているコメントが画像に記録されます。チェックボックスをオフ にすると、撮影画像には記録されませんが、[画像コメント] のコメントエリアに入力されます。 [OK] ボタンをクリックすると、設定がカメラに保存され、撮影する画像に適用されます。

[カメラ] メニューについて

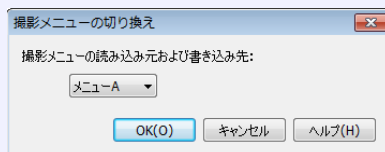
[著作権情報を編集]

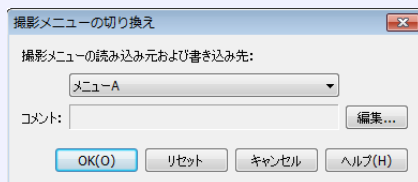
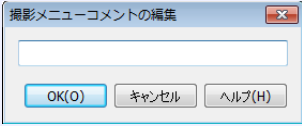
D3 (ファームウェア Ver.2.00 以上)
D3X D3S
D700 D300S
D300 (ファームウェア Ver.1.10 以上)
D7000

[著作権情報を編集] を選択すると、[著作権情報を編集] ダイアログが開きます。撮影者名、著作権者名が編集できます。[画像に著作権情報をつける] チェックボックスをオン ☑ にすると、ここで表示されている撮影者名、著作権者名が画像に記録されます。

[撮影メニューの切り換え]

D3 シリーズ D2 シリーズ
D700 D300 シリーズ
D200 D100

[撮影メニューの切り換え] を選択すると、[撮影メニューの切り換え] ダイアログが開きます。撮影メニューについては、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

D100 : 撮影メニューのセット状態を [メニュー A] と [メニュー B] の 2 通りに記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。

D3 シリーズ D2 シリーズ D700 D300 シリーズ D200 : 撮影メニューのセット状態を 4 通り記憶させておくことができ、撮影状況に合わせて、あらかじめ記憶させておいたセットを一括して簡単に呼び出すことができます。また、各撮影メニューのコメントの編集や、撮影メニューのセット状態のリセットを行うこともできます。

撮影メニューの切り換え
撮影メニューの読み込み元および書き込み先:
メニュー A
コメント:
編集...
OK(O)
リセット
キャンセル
ヘルプ(H)

[撮影メニューの切り換え] 次ページへ続く

[カメラ] メニューについて

[撮影メニューの切り換え] D3 シリーズ　D2 シリーズ D700　D300 シリーズ D200　D100	[編集] ボタンをクリックすると、[撮影メニューコメントの編集] ダイアログが表示されます。[撮影メニューコメントの編集] ダイアログでは、各撮影メニューのコメントを編集することができます。使用できる記号に関しては、「[撮影メニューコメントの編集] ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。[OK] ボタンをクリックすると、ここで設定したコメントが、カメラに送信されます。 撮影メニューコメントの編集 OK(O)　キャンセル　ヘルプ(H)
[BKT 設定] D100　D60 D40 シリーズ を除く	[BKT 設定] を選択すると、[BKT モード] ダイアログが開きます。詳細な内容については、[ドライブ] パネルのインターバル撮影の手順 2 を参照してください。
[インターバル撮影]	[インターバル撮影] を選択すると、[インターバル撮影] ダイアログが開きます。詳細な内容については、「インターバル撮影」を参照してください。
[ライブビュー] D3 シリーズ　D700 D300 シリーズ　D90 D7000　D5000	[ライブビュー] を選択すると、[ライブビュー] ウィンドウが表示されます。詳細な内容については、「ライブビュー撮影」を参照してください。
[カメラ本体のコントロールを有効にする] D100 を除く	チェックをオンにすると、接続したカメラを直接操作して撮影することができます。チェックをオフにすると、電源スイッチ、フォーカスモードセレクトダイヤル以外のすべてのカメラ本体での操作が行えなくなります。

Camera Control Pro のダイアログに入力可能な文字について

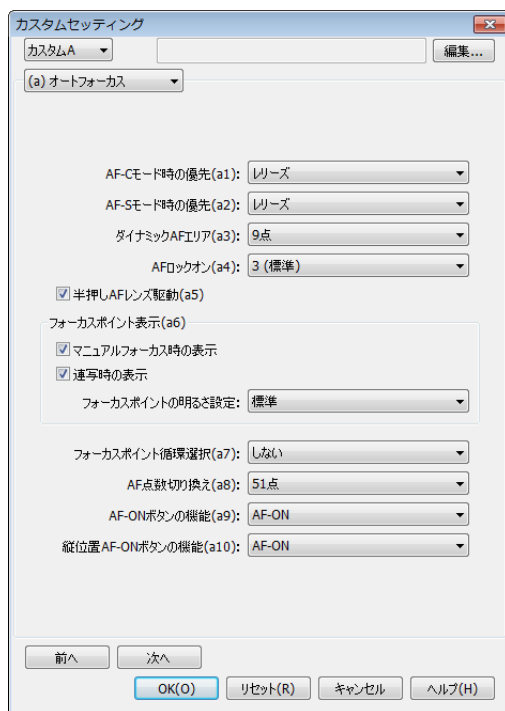
半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「 (スペース)」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

カスタムセッティング

［カスタムセッティング］ダイアログでは、カメラに設定されているカスタムセッティングの内容を参照したり、変更したりすることができます。カスタムセッティングについての詳細は、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

1 ［カメラ］メニューの［カスタムセッティング］を選択します。

次のような［カスタムセッティング］ダイアログが表示されます。

［カスタムセッティング］ダイアログには、接続されているカメラのカスタムセッティングが表示されます。

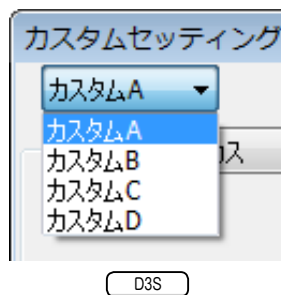
カスタムセッティングの内容

［カスタムセッティング］ダイアログに表示されている各項目を変更すると、カメラに変更内容が送信され、カメラ側のカスタムセッティングに反映されます。カメラを直接操作することなく、カスタムセッティングの内容を変更できます。

カスタムセッティング

2 カスタムセッティングを切り換えるときは、ウインドウ上部のメニューを開き、表示されるテキストボックスの中から選択します。

カスタムセッティングは、使用するカメラの機種によって選択できる数が異なります。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

D3S

3 各項目を変更して［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容がカメラに反映されます。

注意

カスタムセッティングの内容をファイルに保存することはできません。また、［リセット］ボタンをクリックすると、すべての項目が初期設定に戻ります。

［カスタムセッティング］ダイアログで変更できない項目について

以下のカスタムセッティングは、Camera Control Pro の［カスタムセッティング］ダイアログで変更できません。

［Camera Control Pro］ウィンドウの［露出 2］パネルで変更可能な項目：

- 感度の自動制御（#3）（D100 のみ）

［Camera Control Pro］ウィンドウの［処理］パネルで変更可能な項目：

- ノイズ除去（#4）（D100 のみ）

カスタムセッティング

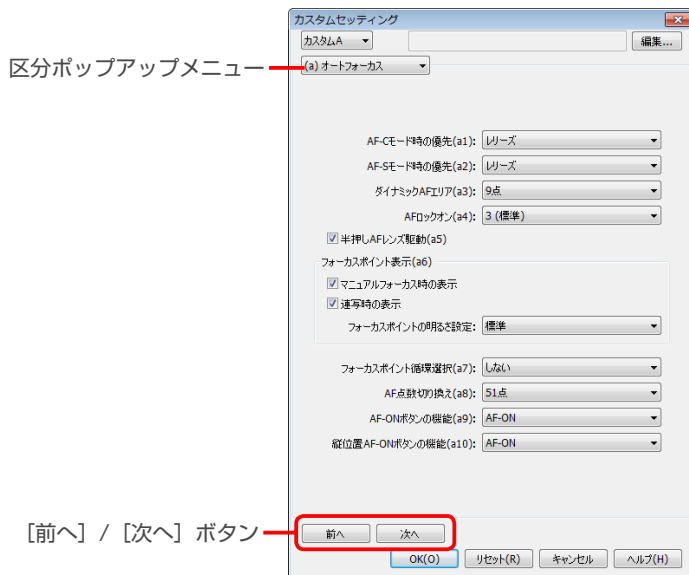
D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D90、D7000、D5000 のカスタムセッティング

カスタムセッティングとコメントについて

D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200 では、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」からカスタムセッティングを選択することができます。また、「カスタム A」、「カスタム B」、「カスタム C」、「カスタム D」は、それぞれお好みの名前に変更することができます。カスタムセッティングの切り換えリストの右横にある［編集］ボタンをクリックすると、［コメント編集］ダイアログが表示されます。

［コメント編集］ダイアログでは、各カスタムセッティングの名前を編集することができます。ここでは、20 文字までの半角英数字または各種記号を入力することができます。使用できる記号に関しては、「カスタムセッティングの［コメント編集］ダイアログに入力可能な記号について」をご覧ください。［OK］ボタンをクリックすると、ここで設定した名称が、カメラに送信されます。

カスタムセッティングの区分について

D3 シリーズ、D2 シリーズ、D700、D300 シリーズ、D200、D90、D7000、D5000 のカスタムセッティングは、6 区分に分けられています。各パネルでは、それぞれの区分に属するカスタムセッティングを設定することができます。表示するパネルの切り換えは、区分ポップアップメニュー、または［前へ］/［次へ］ボタンで行います。

画面は D3S のパネルです

カスタムセッティング

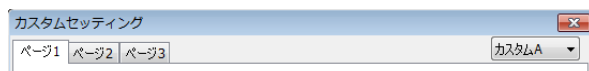
カスタムセッティングの［コメント編集］ダイアログに入力可能な記号について

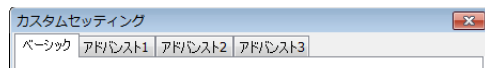
D3 シリーズ　D2 シリーズ　D700　D300 シリーズ　D200

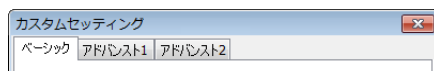
［コメント編集］ダイアログには、半角英数字の他に、次の記号を入力することができます：

「（スペース）」、「!」、「"」、「#」、「$」、「%」、「&」、「'」、「(」、「)」、「*」、「+」、「,」、「-」、「.」、「/」、「:」、「;」、「<」、「=」、「>」、「?」、「@」、「[」、「]」、「_」、「{」、「}」

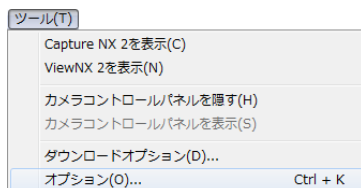
D100 のカスタムセッティング

D100 のカスタムセッティングは、「ページ 1」「ページ 2」「ページ 3」の 3 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

D80、D60 のカスタムセッティング

D80、D60 のカスタムセッティングは、「ベーシック」「アドバンスト 1」「アドバンスト 2」「アドバンスト 3」の 4 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

D70 シリーズ、D50、D40 シリーズのカスタムセッティング

D70 シリーズ、D50、D40 シリーズのカスタムセッティングは、「ベーシック」「アドバンスト 1」「アドバンスト 2」の 3 区分に分けられています。詳しくは、ご使用のカメラの使用説明書をご覧ください。

付録

環境設定

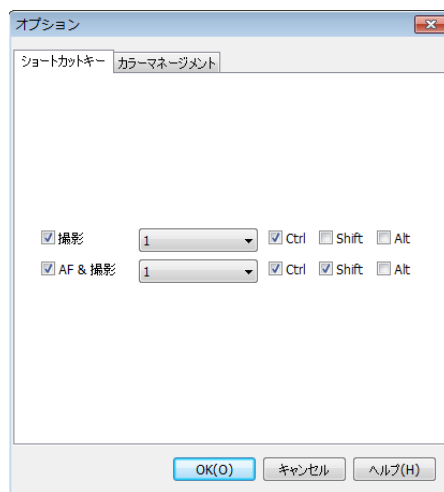
Windows の場合、Camera Control Pro の［ツール］メニューから［オプション］を、Mac OS の場合は、[Camera Control Pro］から［環境設定］を選択すると、[オプション（環境設定)］ダイアログが表示されます。

Windows

Mac OS

Camera Control Pro の［オプション（環境設定)］ダイアログの各パネルでは、次のようなユーザー環境を設定できます。

- ［ショートカットキー］パネル
- ［カラーマネージメント］パネル（Windows、Mac OS）

[ショートカットキー] パネル

[ショートカットキー] パネルでは、[撮影] ボタンと [AF & 撮影] ボタンのショートカットキーの割り当てを変更できます。ショートカットキーは Camera Control Pro が起動している場合は常に有効です。

[撮影]	[撮影] チェックボックスをオン ☑ にすると、[撮影] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac OS：control/shift/option/command）も選択できます。
[AF & 撮影]	[AF & 撮影] チェックボックスをオン ☑ にすると、[AF & 撮影] ボタンのショートカットキーが有効になります。ポップアップメニューからショートカットキーとして使用したいキーを選択します。組合せに使用するキー（Windows：Ctrl/Shift/Alt、Mac OS：control/shift/option/command）も選択できます。

ショートカットキーが無効になる場合

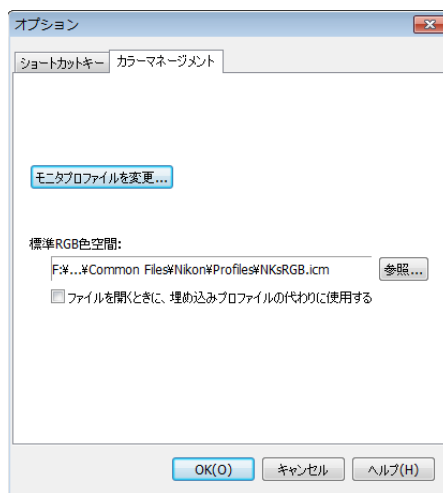
ダイアログが表示されている場合や、画像をパソコンにダウンロードしている場合は、ショートカットキーは動作しません。OS や他のアプリケーションとショートカットキーが重複する場合、いずれかのショートカットキーが無効になる場合があります。設定が重複しないように注意してください。

ショートカットキーが重複する場合

[撮影] ボタンと [AF & 撮影] ボタンのショートカットキーが重複する場合、警告ダイアログが表示されます。両方のボタンにショートカットキーを登録したい場合は、重複しないように設定してください。

環境設定

[カラーマネージメント］パネル（Windows）

Windows の［カラーマネージメント］パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。

［モニタプロファイルの変更］ボタン	ご使用のモニターの特性を補正するために使われるディスプレイプロファイルを設定します。
［標準 RGB 色空間］	画像を扱う際の作業用（出力）色空間を設定します。［選択］ボタンをクリックして RGB プロファイルを指定します。 ［ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する］のチェックボックスをオン ☑ にすると、標準 RGB 色空間で設定された色空間が作業用色空間となります。チェックボックスをオフ ☐ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。

環境設定

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境で表示する場合は、主に画像を表示するディスプレイに合ったプロファイルを設定してください。

デフォルト（初期値）のディスプレイプロファイル

パソコンでカラープロファイルが設定されていない場合には、NKMonitor_Win.icm をデフォルト（初期値）のディスプレイプロファイルとして使用します。NKMonitor_Win.icm は sRGB に相当します。

［カラーマネージメント］パネルの設定

［カラーマネージメント］パネルで変更した内容は、ViewNX、ViewNX 2、Nikon View、PictureProject または別売の Nikon Capture で共有され、各アプリケーションのオプション（環境設定）の［カラーマネージメント］パネルに反映されます。別売の Capture NX 2、Capture NX には反映されません。

環境設定

［カラーマネージメント］パネル（Mac OS）

Mac OS の［カラーマネージメント］パネルでは、ニコンカラーマネージメントシステムに関する項目を設定できます。また、ディスプレイプロファイルについては、システム環境設定のディスプレイで設定されているプロファイルが反映されます。

［書類のデフォルト ColorSync プロファイル］ セクション	画像の表示に使用する、ICC プロファイルを設定します。 **［標準 RGB 色空間］**：画像を扱う際の作業用（出力）色空間（ICC プロファイル名）を選択できます。［ファイルを開くときに、埋め込みプロファイルの代わりに使用する］チェックボックスをオン ☑ にすると、ここで設定したプロファイルが画像を扱う際の作業用色空間となります。チェックボックスをオフ ☐ にすると、画像ファイルに埋め込まれているプロファイルが作業用色空間となります。
［装置のプロファイル］ セクション	ディスプレイプロファイルの設定を行います。 **［ディスプレイプロファイルの変更］**：［ディスプレイプロファイルの変更］ボタンをクリックすると、システム環境設定のディスプレイが開きます。ここで、［カラー］タブを選択して、ディスプレイのプロファイルを参照および変更することができます。

環境設定

補足

［標準 RGB 色空間］に入力用のプロファイルを設定した場合、Camera Control Pro では、sRGB 色空間が設定されたものとして動作します。

［カラーマネージメント］パネルの設定

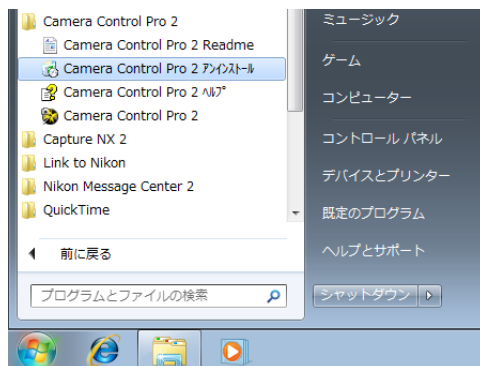
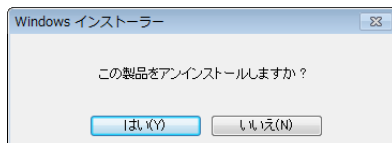
［カラーマネージメント］パネルで変更した内容は、Nikon View、PictureProject または別売の Capture NX 2、Capture NX、Nikon Capture には反映されませんが、ViewNX、ViewNX 2 には反映されます。ただし、ディスプレイプロファイルの変更は、OS の設定を変更するため、すべてのソフトウェアに影響します。

マルチディスプレイ

マルチディスプレイの環境では、ウインドウのより多くのエリアを表示しているディスプレイのプロファイルを取得し表示します。従って、ディスプレイごとに異なるプロファイルを使って表示を行うことができます。

アンインストール Windows

Camera Control Pro をアンインストールする際は、管理者（Administrator）権限のアカウントでログオンしてください。

1 スタートのプログラム一覧から［Camera Control Pro 2］→［Camera Control Pro 2 アンインストール］を選択します。

2 アンインストールの確認ダイアログが表示されます。

［はい］ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。

3 Camera Control Pro とほかのプログラムで共有している共有ファイルや読み取り専用ファイルがある場合、確認の画面が表示されます。画面の表示を確認しながらファイルを削除、または残します。

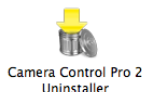
4 ［完了］ボタンをクリックします。

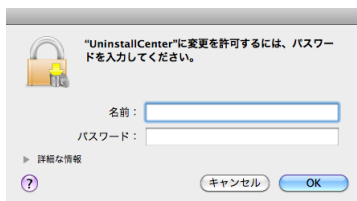
パソコンを再起動するダイアログが表示された場合は、ダイアログにしたがってパソコンを再起動してください。

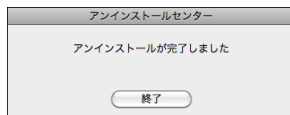
アンインストール

Mac OS

Camera Control Pro をアンインストールする際は、「管理者」権限のアカウントでログインしてください。

1 ［アプリケーション］→［Nikon Software］→「Camera Control Pro 2」の順にフォルダを選択し、[Camera Control Pro 2 Uninstaller] をダブルクリックしてください。

2 Camera Control Pro のアンインストールには、管理者の［名前］と［パスワード］が必要です。

管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックしてください。

3 ［はい］ボタンをクリックしてください。

4 ［終了］ボタンをクリックしてください。

標準 RGB 色空間について　1/2

	色空間	Windows	Mac OS	内容
ガンマ1.8系	Apple RGB	NKApple.icm	Nikon Apple RGB 4.0.0	Adobe Photoshop 4.0 以前のバージョンで使用されていた RGB 色空間です。各種 DTP アプリケーションでも使用されている、Mac OS 用モニターの平均的な RGB 色空間です。Mac OS 上で画像を表示する場合に適しており、バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Apple RGB」に相当します。
	ColorMatch RGB	NKCMatch.icm	Nikon ColorMatch RGB 4.0.0	Radius 社の Pressview モニター用の色空間で、Apple RGB よりもやや色域が広く、特に青の色域が広いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「Color Match RGB」に相当します。

標準 RGB 色空間について 2/2

ガンマ 2.2 系

色空間	Windows	Mac OS	内容
sRGB	NKsRGB.icm	Nikon sRGB 4.0.0	ほとんどの Windows 用モニターの代表として定義された色空間です。一般的なカラー TV の色空間にも非常に似通っており、近年アメリカで標準となりつつあるデジタル TV 放送用色空間でもあります。この色空間を初期設定色空間として使用するハードウェア、ソフトウェアが多く見受けられます。近年 Web ページに用いる画像の標準色空間になりつつあり、スキャンした画像を編集またはプリントせず、そのまま電子画像として使用する場合に適しています。しかし色域が狭く、特に青の色域が狭いのが特徴です。Adobe Photoshop 5.0 または 5.5 における RGB 設定の「sRGB」、Adobe Photoshop 6.0 における「sRGB IEC61966-2.1」に相当します。
Bruce RGB	NKBruce.icm	Nikon Bruce RGB 4.0.0	Bruce Fraser 氏が定義した色空間です。xy 色度図上で「Adobe RGB」の G と「ColorMatch RGB」の G の間に G の色度を定義し、sRGB の青の色域を広げて SWOP CMYK の色域を包含する色域を実現しています。Bruce RGB の R と B は「Adobe RGB」と一致しています。
NTSC (1953)	NKNTSC.icm	Nikon NTSC 4.0.0	National Television Standard Committee（NTSC）で定義されたビデオ色空間で、従来のカラーテレビの標準 RGB 色空間です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「NTSC（1953)」に相当します。
Adobe RGB (1998)	NKAdobe.icm	Nikon Adobe RGB 4.0.0	Adobe Photoshop 5.0 で定義された色空間です。sRGB よりもかなり色域が広く、ほとんどのプリンターの CMYK 色域を包含しているので、DTP 関連の業務に適しています。Adobe Photoshop 5.0 の RGB 設定の「SMPTE-240M」、バージョン 5.5 以降の「Adobe RGB（1998)」に相当します。
CIE RGB	NKCIE.icm	Nikon CIE RGB 4.0.0	Commission Internationale de l'Eclairage（CIE）で定義された色空間です。色域はかなり広めですが、シアン系の色域が狭いのが特徴です。バージョン 5.0 以降の Adobe Photoshop の RGB 設定の「CIE RGB」に相当します。
Adobe Wide RGB	NKWide.icm	Nikon AdobeWide RGB 4.0.0	Adobe 社が定義した可視カラーの大半を表現できる色空間です。しかしこの色空間で定義される色の大半は一般的なモニターやプリンターでは表現できない色となります。バージョン 5.0 以降の AdobePhotoshop の RGB 設定の「Adobe Wide RGB」に相当します。

トラブルシューティング

撮影画像が表示されない

[ダウンロードオプション]の [カメラから新しい画像を受け取った時] の設定が[何もしない]、[Capture NX の監視フォルダに保存する]または[Capture NX 2 の監視フォルダに保存する]になっていないか確認してください。上記の設定になっている場合は、[ViewNX に表示する]または[ViewNX 2 に表示する]を選択してください。

カメラ本体で操作ができない

カメラメニューの [カメラ本体のコントロールを有効にする] にチェックがオフになっていないか確認してください。オフになっている場合は、チェックをオンにしてください。また、ライブビュー撮影中は[カメラ本体のコントロールを有効にする]がオンになっていても、カメラ本体を操作できません。ライブビュー撮影を終了してください。

Camera Control Pro で操作ができない

カメラメニューの [カメラ本体のコントロールを有効にする] にチェックがオンになっていないか確認してください。オンになっている場合は、チェックをオフにしてください。

カスタマー登録とサポート窓口のご案内

カスタマー登録のご案内

Camera Control Pro のインストール前または後に［Welcome］ウィンドウの［Nikon オンライン関連リンクボタン］をクリックすると表示される画面の［カスタマー登録］ボタンをクリックしてください。インターネットを通じてカスタマー登録を行うことができます（インターネットに接続できる環境が必要です）。

カスタマー登録

カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

https://reg.nikon-image.com

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話･公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

株式会社ニコン